

遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備（ 建築主体） 工事 （北ーヤマアラシ舎）

設計図

山梨建築設計監理事業協同組合

図 面 リ ス ト

[illegible]

遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備（建築主体）工事
北—ヤマアラシ舎設計図

令和 年 月（金 校）

仕 様 書

I 工事概要

敷地所在地	山梨県甲府市太田町10-1
都市計画区域	市街化区域
防火指定	無
その他の地域地区	法22条区域
道路	
敷地面積	28,507.44㎡ 商業地域2,433.67㎡ 第二種住居地域26,073.77㎡
用途地域	第二種住居地域、西側道路より20m商業地域
建坪率	第二種住居地域 60% 商業地域 80%
容積率	第二種住居地域 200% 商業地域 400%
建物の主要用途	博物館
工事の種類	新築
棟数	1棟(ヤマアラシ舎)
構造・階数	RC造平家建
建築面積	29.12㎡
延べ床面積	29.12㎡
最高の高さ	3,040mm
最高の軒高さ	2,995mm
消防法上の有窓階・無窓階	1階：有窓階
下水の放流形式	下水

工事種目 図示の内容全て

II 工事範囲

※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち _____ の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

2 仮設工事	工事範囲全て
3 土工事	
4 地業工事	
5 鉄筋工事	
6 コンクリート工事	
7 鉄骨工事	
8 コンクリートブロック・ALCパネル 押出成形セメント板工事	
9 防水工事	
10 石工事	
11 タイル工事	
12 木工事	
13 屋根及びとい工事	
14 金属工事	
15 左官工事	
16 建具工事	
17 カーテンウォール工事	
18 塗装工事	
19 内装工事	
20 ユニット及びその他の工事	

III 建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁宮繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「様仕」という。）による。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、様仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（別 ）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。
(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。
(6) ☒印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

章 項 目

① 一般共通事項

① 適用基準等

○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官庁宮繕部建築課監修 最新版）
○工事写真の集り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官庁宮繕部監修）

② 工事実績情報の登録

※適用する

③ 施工計画書

○工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。
○施工計画の内容を変更する必要が生じた場合は、監督職員に報告するとともに、施工に支障がないよう適切な措置を講ずる。

4 電気保安技術者

工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
・要 ・不要

⑤ 施工条件

工事着手については監督職員と協議し着手する。
共A－0.5参考工程表を参照

⑥ 発生材の処理等

※現場説明書による ○構外搬出適切処理

⑦ 建築材料等

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。
(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
(3) 安定的な供給が可能であること
(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承認を受ける。

⑧ 化学物質を放散する建築材料等

建築材料の使用制限

建築材料等について、規制の対象となる範囲は下地、仕上げ材共にF☆☆☆☆または規制対象外の建材を用いることとし、該当する材料が無い場合は監督職員の承認を受けF☆☆☆☆のものを採用するを含む）を使用すること。

⑨ 特別な材料の工法

様仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

⑩ 技能士

② 仮設工事

① 監督職員事務所

※設ける
規模 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ・5号
○設けない
・備品（必要備品は適宜設置）
構内既存の施設
○利用できる（ ・※有償 ・無償 ） ※利用できない

② 工事用水

構内既存の施設
○利用できる（ ・※有償 ・無償 ） ※利用できない

③ 工事用電力

構内既存の施設
○利用できる（ ・※有償 ・無償 ） ※利用できない

③ 土工事

① 埋戻し及び盛土

種類 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種
・建設汚泥から再生した処理土 ☒

② 建設発生土の処理

※現場説明書による
・構外搬出適切処理 ○構内指示の場所にたい積 ・構内指示の場所に敷き均し

④ 地業工事

1 既製コンクリート杭地業

種類
※高強度プレストレストコンクリート杭

	杭径（mm）	杭長（m）及び種別	継手数	セット数	備考
試験杭					
本 杭					

杭頭の処理 ※切断しない ・
先端部形状 ※開放形 ・閉そく平たん形
杭の継手 建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。
施工法 ・特定埋込み杭工法
工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中掘拡大根固め工法
H13国土交令1113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法
杭周固定液 ・使用する

セメントの種類 6家コンクリート工事のセメントの種類による

① 電子納品

○工事関係図書を電子納品すること
○適用基準は以下の通りとする。 （作成・納品の基準、納品する資料の範囲等）
○書面による署名及び捺印の取り扱い（電子成果物の原本性保証に関する処置）
電子納品の導入にあたっては、従来の署名または捺印に代わる措置として、電子署名の導入が求められるが、電子署名の導入は現時点では困難であるため、
1） 受注者は電子媒体の内容の原本性を証明するために、電子媒体に署名又は捺印の上、提出する。
2） 共通仕様書に基づく各書面に対する署名又は捺印は、上記1）の措置を持って代えることができる
○設計図CADデータ貸与する。
○設計図CADデータの著作権は以下の者にある
貸与するCADデータを当該工事を当該工事における施工図面又は完成図の作図のため以外に使用してはならない。
甲府市まちづくり部 まち整備室建築営繕課

② 化学物質の濃度測定

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの5物質について測定し、厚生労働省で定める指針値以下の濃度であることを確認し、測定結果報告書を監督職員に提出すること。（測定結果が指針値を超えた場合は、発生源を特定し、換気などの措置を講じた後、再度測定を行う。）

測定対象化学物質	厚生労働省の指針値（25℃の場合）
ホルムアルデヒド	0.08 ppm（ 100μg/m ³ ）
トルエン	0.07 ppm（ 260μg/m ³ ）
キシレン	0.05 ppm（ 200μg/m ³ ）
エチルベンゼン	0.88 ppm（ 3,800μg/m ³ ）
スチレン	0.05 ppm（ 220μg/m ³ ）

測定はパッシブ型採取器により行う。
着工前の測定 ・行う
測定対象室 ・図示 ○ 前室
測定箇所数 ・図示 ○ 1箇所
測定結果の報告

③ 完成図等

※作成する ・作成しない
※完成図 提出部数 ※各2部 ・部（A3版第2原図及び電子媒体（CD-R））
※施工計画書 提出部数 ※1部 ・部
※施工図 提出部数 ※1部 ・部
※保全に関する資料 提出部数 ※1部 ・部

④ 完成写真

下記のを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。
分類・規格 撮影箇所数 提出部数 原稿の大きさ（mm）
○カラー ※キャビネ版 外部（4）内部（4） ※2 ・6 ※100×125以上
・カラー半切木製パネル 324×400（mm） 外部（ ）内部（ ） ※2
○電子データ 外部（4）内部（4） ※2 ※200万画素以上 ※300dpi以上
100×125以上の原稿を使う場合は、監督職員にあらかじめべた供を提出し確認を受ける。
電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする）

⑤ 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑥ 設計G L

※図示

⑦ 工事写真

・「宮繕工事電子納品要領（令和3年3月改訂版）」による。

承認

代表設計者

設計担当者

縮 尺

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事（北—ヤマアラシ舎）

図面名称 特記仕様書（1）

特 記 事 項

山梨建築設計監理事業協同組合

北ヤA-02

⑪
建
具
工
事

①
見本の製作等

・特殊な建具の仮組（建具符号：）（表16.1.4）

②
アルミニウム製建具

外部に面する建具（表16.2.2）（表16.2.4）（表16.2.1）

種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
○A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	※図示
・B種	S-5			○100	※図示
・C種	S-6	A-4	W-5	特記による	※図示

断熱等級・枠・障子：ガラス：表面処理 ※B-1種・B-2種（・ブラウン系・ブラック・ステンカラー）（表14.2.1）屋内建具表面処理 ※C-1種又はB-1種・C-2種又はB-2種（・ブラウン系・ブラック・ステンカラー）（表14.2.1）防虫網網の種別 ※ガラス繊維入り合成樹脂製・合成樹脂製 ○ステンレス製（SUS316）（表16.2.3）形 式 ※外部可動式 ○固定式3 樹脂製建具建具の性能及び構造の適用は建具表による（表16.3.2）製造所標準仕様による（表16.3.3）③ 鋼製建具簡易気密型ドアセットの適用は特記による（表16.4.2）（表16.4.1）耐風圧性の適用は建具表による（表16.4.1）特定防火設備の戸・適用あり5 鋼製軽量建具簡易気密型ドアセットの適用は建具表による（表16.5.2）6 ステンレス製建具簡易気密型ドアセットの適用は建具表による（表16.6.4）表面仕上げ ※H L程度・鏡面仕上げ・曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ（補強あり）（表16.6.5）特定防火設備の戸・適用あり（表16.6.1）7 木製建具かまち戸の樹種 かまち（） 鏡板（）（表16.7.2）ふすまの上張り※新鳥の子又はビニル紙張面（押入等の裏面は除く）・鳥の子建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量※規制対象外・第三種③ 建具用金物マスターキー ※製作する・製作しない（表16.8.4）建具用金物（表16.8.6）錠類はシンリンダー箱錠（レバーハンドル）とする（表16.8.1～5）なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける（表16.8.2）吊金物・丁香（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）・ピボットヒンジ・フロアヒンジ9 自動ドア開閉装置閉閉方法 センサの種類※スライディングドア・スイングドア・マトスイッチ・電子マットスイッチ・光線スイッチ・音波スイッチ・熱線スイッチ・光電スイッチ・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）10 自閉式上吊り引戸装置品質規格 ※標仕16.10.11による・製造所標準仕様による（表16.10.2～3）11 重量シャッターシャッターの種類・一般重量シャッター・外壁用防火シャッター・屋内用防火シャッター・屋内用防煙シャッター（表16.11.2）開閉機能 ※上部電動式（手動併用）・上部手動式（表16.11.1）危害防止機構※障害物感知装置（自動開閉型）・シャッターの二段降下方式・一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける・設けない（表16.11.2）12 軽量シャッター開閉形式 ※手動式・上部電動式（手動併用）（表16.12.1）（表16.12.1）スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板・鋼板（表16.12.3）形状 ※インターロックング形・オーバーラッピング形（表16.12.4）ガイドレール等 ※鋼板製・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）（表16.12.2）耐風圧性能（）N/m213 オーバーヘッドドアセクション材料 開閉方式 収納形式 ガイドレール※スチールタイプ・アルミニウムタイプ・ファイバークラスタイプ※バランスタイプ・チェーン式・電動式・スタンダード形・ローヘッド形・ハイリフト形・パッチカル形※ステンレス鋼板（SUS304）耐風圧性能（）N/m2③ 建具表による・ガラスブロック 標仕16.14.51による（表16.14.2）（表16.14.5）表面形状 呼び寸法（mm） 厚さ（mm） 色調 防火性能・正方形・※クリア・※無し・長方形・有り（表16.14.2）（表16.14.5）ガラス留め材及び溝ガラス留め材（表16.14.2）（表9.7.1）建具の種類 材 種アルミニウム製 ※シーリング材・ガasket（FIX部はシーリング材）鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材ステンレス製 ※シーリング材防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。板ガラスをはめ込む大きさ 標仕16.14.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会 JASS 17 ガラス工事「3.1 納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する（表16.14.3）名 称 種 類 張り面 性能値※ガラス飛散防止フィルム 第2種 ※内張り・外張り 飛散防止率 D1品質 JIS A 5759 による

17
カー
テン
ウ
ォ
ール
工
事

2 メタルカーテンウォール設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会 JASS14 による。（表17.2.2）カーテンウォール材料の種類（表17.2.2）種 別 規格等※アルミニウム製 ※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料によるカーテンウォール方式・方立方式・バックマリオン方式（・単純2辺支持構造・SSG構造）・スパンデル方式・パネル方式・小型パネル組み合わせ方式（・ノックダウン方式・ユニット方式）シーリング材及びガラス取付け材料下記以外は標仕表9.7.1による（表9.7.1）（表9.7.2）（表9.7.1）接着体の組合せ シーリング材の種類記 号 主成分による区分 耐久性による区分金属 石、タイルガラス ガラス構造用ガスケット ※適用しない（表17.2.2）※適用しない（表17.2.2）断熱材 ※適用する（種類：厚さ（mm）：施工箇所※図示）（表17.2.2）※適用する（種類：厚さ（mm）：施工箇所※図示）（表17.2.2）製品の寸法許容差 ※標仕表17.2.11による（表17.2.3）（表17.2.1）・製造所標準製作規定寸法許容差による（表17.2.5）（表17.2.2～3）・取付け（表17.2.3）（表14.2.1）アルミニウムの表面処理（表17.2.3）（表14.2.1）種 別 色調等・A-1種・B-1種 無着色・A-2種・B-2種 ※ブラウン系・ブラック・ステンカラー・着色塗装 塗装材料（） 焼付け方法（）コート（）ベーク耐風圧性能（表17.1.3）性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。・正圧 N/m²以上及び負圧 N/m²以上に対して安全であること。主要部材のたわみ 変点間距離（h） たわみ量 状 態※4m以下 ※±（1/150）×h ※各部の破壊、残留変形 かつ絶対量20mm以下 有害な変形が起こらないこと・4mを超える耐震性能（表17.1.3）設計用震度 水平方向（K_H） ※1.0・垂直方向（K_V） ※0.5・建物の構造種別 層間変位量（h=変点間距離） 状 態鉄骨造 ※±（1/100）×h以上 ※部材の脱落、ガラスの破壊及び主要部材に有害な歪みが起こらないシーリングは補修程度鉄筋コンクリート造 ※±（1/200）×h以上鉄骨鉄筋コンクリート造水密性・W-4・W-5・気密性・A-3・A-4・耐火性能 ※適用しない・適用する 時間、施工箇所：図示映像調整 ※行わない・行う（建具表による）製造所 性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会 JASS 14 による。（表17.3.2）コンクリートの種類及び品質※標仕17.3.2による・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。コンクリートの種類 設計基準強度（F_c） 所要スランプ（cm）鉄筋 ※SD295A取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質（表14.2.3）（表14.2.2）金物種類及び部位 内 部 外 部P C 鉄打込み金物 ※E 種・※A 種P C 鉄打込み取付けザルト ※E 種・※ステンレスボルト2次ファスナー ※E 種・※A 種取付けボルト ※E 種・※A 種レベル調整ボルト ※E 種・※A 種上記以外はカーテンウォール製作所の仕様によるシーリング材料下記以外は標仕表9.7.1による（表9.7.2）（表17.3.2）（表9.7.1）施工箇所 シーリング材の種類記 号 主成分による区分 耐久性による区分カーテンウォール板間目地断熱材 ※適用しない・適用する（種類：厚さ（mm）：施工箇所 ※図示）（表17.3.3）（表17.3.1）製品の寸法許容差 ※標仕表17.3.11による（表17.3.3）（表17.3.1）・製造所標準製作規定寸法許容差による表面仕上げ（）耐火材料 施工部位 種 別 規格等・ファスナー部・取付けブラケット・パネル目地部・層間ふさぎ耐風圧性能（表17.1.3）性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。・正圧 N/m²以上及び負圧 N/m²以上に対して安全であること。耐震性能（表17.1.3）設計用震度 水平方向（K_H） ※1.0・垂直方向（K_V） ※0.5・建物の構造種別 層間変位量（h=変点間距離） 状 態鉄骨造 ※±（1/100）×h以上 ※部材が損傷せず、破壊脱落もしない。鉄筋コンクリート造 ※±（1/200）×h以上シーリングは補修程度鉄骨鉄筋コンクリート造

3 PCカーテンウォール

19
衣
装
材
工
事

2 ニル床シート張りビニル床タイル及びゴム床タイル張り（表19.2.1～4）（表19.2.1～2）JIS A5705のJIS表示認証製品（表19.2.1～4）（表19.2.1～2）種 別 記 号 色 柄 厚さ（mm） 特殊機能 工 法※ 発泡層のないもの ※ F S ・無地 2.0 ・帯電防止 ※熱溶接・発泡層のあるもの ・ T S ・マーブル 2.5 ・帯電荷重 ・変付けJIS A5705のJIS表示認証製品で、表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの種類 記 号 厚さ（mm） 特殊機能 工 法F S ・木目調 ※ 2.0 ・帯電防止 ※熱溶接・石目調 ・ 2.5 ・帯電荷重 ・変付け上記以外はすべてビニル床シートに同じJIS A5705のJIS表示認証製品（表19.2.1～4）（表19.2.1～2）種 別 記 号 寸法 厚さ（mm） 特殊機能※ コンポジション ※ K T ※300×300 ・ 2.0 ・帯電防止 ・耐動荷重・ ホモジェニアス ・ F T ・300×300 ・ 2.0 ・帯電防止 ・耐動荷重・ ビニル床タイル ・450×450帯電防止・帯電防止性能評価 JIS A 1445 1.2～3.1 程度又は耐電圧（JIS L 1023）3kV以下・帯電防止性能評価（JIS A 1445）3.2～5.1 程度又は漏えい抵抗値（JIS A 1454）0.1×1010オーム未満・帯電防止性能評価（JIS A 1445）5.2以上又は漏えい抵抗値（JIS A 1454）0.1×107オーム未満耐動荷重 JIS A 1454 によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験（発泡層のあるビニルシートのみ）およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。・視覚障害者用床タイル材 質 寸 法（mm）・塩化ビニル系・せっ器質タイル系 300×300・材 種 ※軟質・硬質・溶接高さ（mm） ※ 6.0 ・ 7.5 ・ 10.0厚 さ（mm） ※ 1. 5 ・ 2. 0 J I S A 5536（床仕上げ材接着剤）により、種別は表19.2.11による施工箇所に応じたものとする。ホルムアルデヒド放散量は特記による。特記がなければF☆☆☆☆とする。（表19.3.1）③ 織じゅうたん種 別 バイル形状 色柄等 備 考・A種・カットバイル・B種・ループバイル・C種・カット、ループバイル併用耐電性 ※人体帯電圧3kV以下・タフテッドカーペットバイル形状 バイル長（mm） 工 法 備 考・カットバイル ※5～7 ・ ※全面接着工法 下敷き材を敷く。・ループバイル ※4～6 ・ ・グリッター工法・レベルループバイル ※4 ・・カット、ループ併用耐電性 ※人体帯電圧3kV以下・縮 尺承認 代表設計者 設計担当者A1→N/S A3→N/S工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備（建築主体）工事（北→マアツン舎）図面名称 特記仕様書（3）

3 カーペット敷き

⑪
塗
装
工
事

① 材 料② 素地ごしらえ③ 錆止め 塗料塗り④ 合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）⑤ 合成樹脂調合ペイント塗り（木部 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼板）⑥ クリアラッカー塗り（C L）⑦ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（コンクリート・モルタル面）⑧ 耐候性塗料塗り（屋外）⑨ 合成樹脂エマルションペイント塗り（E P）⑩ 合成樹脂エマルション模様塗料塗り（E P-T）⑪ ウレタン樹脂ワニス塗り（U C）⑫ ラッカーエナメル塗り（L E）⑬ オイルステイン塗り（O S）⑭ 木材保護塗料塗り（W P）⑮ 衣 装 材 工 事2 ニル床シート張りビニル床タイル及びゴム床タイル張り（表19.2.1～4）（表19.2.1～2）JIS A5705のJIS表示認証製品（表19.2.1～4）（表19.2.1～2）種 別 記 号 色 柄 厚さ（mm） 特殊機能 工 法※ 発泡層のないもの ※ F S ・無地 2.0 ・帯電防止 ※熱溶接・発泡層のあるもの ・ T S ・マーブル 2.5 ・帯電荷重 ・変付けJIS A5705のJIS表示認証製品で、表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの種類 記 号 厚さ（mm） 特殊機能 工 法F S ・木目調 ※ 2.0 ・帯電防止 ※熱溶接・石目調 ・ 2.5 ・帯電荷重 ・変付け上記以外はすべてビニル床シートに同じJIS A5705のJIS表示認証製品（表19.2.1～4）（表19.2.1～2）種 別 記 号 寸法 厚さ（mm） 特殊機能※ コンポジション ※ K T ※300×300 ・ 2.0 ・帯電防止 ・耐動荷重・ ホモジェニアス ・ F T ・300×300 ・ 2.0 ・帯電防止 ・耐動荷重・ ビニル床タイル ・450×450帯電防止・帯電防止性能評価 JIS A 1445 1.2～3.1 程度又は耐電圧（JIS L 1023）3kV以下・帯電防止性能評価（JIS A 1445）3.2～5.1 程度又は漏えい抵抗値（JIS A 1454）0.1×1010オーム未満・帯電防止性能評価（JIS A 1445）5.2以上又は漏えい抵抗値（JIS A 1454）0.1×107オーム未満耐動荷重 JIS A 1454 によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験（発泡層のあるビニルシートのみ）およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。・視覚障害者用床タイル材 質 寸 法（mm）・塩化ビニル系・せっ器質タイル系 300×300・材 種 ※軟質・硬質・溶接高さ（mm） ※ 6.0 ・ 7.5 ・ 10.0厚 さ（mm） ※ 1. 5 ・ 2. 0 J I S A 5536（床仕上げ材接着剤）により、種別は表19.2.11による施工箇所に応じたものとする。ホルムアルデヒド放散量は特記による。特記がなければF☆☆☆☆とする。（表19.3.1）③ 織じゅうたん種 別 バイル形状 色柄等 備 考・A種・カットバイル・B種・ループバイル・C種・カット、ループバイル併用耐電性 ※人体帯電圧3kV以下・タフテッドカーペットバイル形状 バイル長（mm） 工 法 備 考・カットバイル ※5～7 ・ ※全面接着工法 下敷き材を敷く。・ループバイル ※4～6 ・ ・グリッター工法・レベルループバイル ※4 ・・カット、ループ併用耐電性 ※人体帯電圧3kV以下・縮 尺承認 代表設計者 設計担当者A1→N/S A3→N/S工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備（建築主体）工事（北→マアツン舎）図面名称 特記仕様書（3）

3 カーペット敷き

4 合成樹脂塗床

5 フローリング張り

6 畳敷き

7 せっこうボード及び合板張り

8 壁紙張り

9 断熱・防露

・タイルカーペット（表19.3.2）バイル形状 種 別 寸法（mm） 総厚さ（mm） 備 考※ルーフバイル ※第一種 ※500×500 ※6.5 貼着はく離接着剤を使用する。・第二種・カットバイル・カット、ループ併用耐電性 ・人体帯電圧3kV以下（フリーアクセスフロア敷設範囲）（表19.4.1～4）（表19.4.1～8）種 別 仕 上 げ の 種 類・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ・防汚仕上げ・つや消し仕上げ・エポキシ樹脂塗床材 ・薄膜流し風仕上げ（・平滑・防汚）・厚膜流し風仕上げ（・平滑・防汚）・樹脂モルタル仕上げ（・平滑・防汚）・防汚仕上げ特記による・単層フローリング（表19.5.1～7）（表19.5.1～6）種 別 樹 種 厚 さ（mm） 工 法 塗装・フローリング ※ナラ ※1 5 幅 7 5 長さ900以上 ・釘止め工法 ※ウレタン樹脂ワニス塗り・フローリングブロック ※ナラ ※1 5 303×303 ・接着工法 ・オイルステイン 塗りの上ワックス ・生地そのままワックス・モザイクカーペット ※ナラ ・ 6 ・ 8 ・ 9 ・接着工法 ・既装製品・複層フローリング種 別 樹 種 種 別 防湿処理 工 法 塗装・複合1種 フローリング ※ナラ ・サクラ ・A種 ・行方 ・釘止め工法 ※ウレタン樹脂ワニス塗り・複合2種 フローリング ・ヒノキ ・B種 ・行わない 接着工法 ・オイルステイン 塗りの上ワックス ・生地そのままワックス・複合3種 フローリング ・ナラ ・サクラ ・行方 ・行わない 特殊張り工法（体育館床） ワックス ・既装製品畳の種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種（（表19.6.2）（表19.6.1）（表19.7.2～3）（表19.7.1～5）種 別 JISの記号 厚さ（mm）、規格等・硬質毛セメント板 HW 15 20 25・普通毛セメント板 NW 15 20 25・けい酸カルシウム板 0.8 F K タフ2（無石綿） 8・ロックウール化粧音板 DR ザラツタイプ（※9（不燃）・12（不燃）・凹凸タイプ（※12（不燃）・15・19（不燃）・ロックウール化粧音板（軒天併用） DR ※ザラツタイプ 9（不燃）・凹凸タイプ（※12・15）（不燃）・せっこうボード GB-R ※12.5（不燃）・9.5（準不燃）・不燃積層せっこうボード GB-N C 9.5（不燃） 化粧無（下地張り用）化粧有（トラバーチン模様）・シーディングせっこうボード GB-S 12.5（不燃）・強化せっこうボード GB-F 12.5（不燃） 15.0（不燃）・せっこうラスボード GB-L 9.5・化粧せっこうボード（木目） GB-D 9.5（不燃） 幅40mm程度 模様（※柱目・板目） 専用下地材付き・難燃合板 生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度）・不透明塗料塗り（しな合板程度）・メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による 厚さ1.2・ミディアムデンシティファイバーボード M D F 3 7 9 12・単板張りパーティクルボード 無研磨板 ・研磨板・10 12 15 18・ハードボード（素地） H B 無研磨板（・スタンダード・テンパード）・研磨板（・スタンダード・テンパード）・インシュレーションボード I B A級（・天井仕上・内装仕上）・9 12 15 18合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量※規制対象外・第三種軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材※適用する・適用しない（表19.7.1）吸音材 種 別 JISの記号 厚さ（mm）・ロックウール吸音ボード1号 RW-B ※25・グラスウール吸音ボード32K GW-B ※25（表19.8.2）施工箇所 壁紙の種類紙 繊維（織物） プラ（ビニル） その他（化学繊維） 無機質 防火性能 備 考・不燃・準不燃・難燃・不燃・準不燃・難燃素地ごしらえ（表18.2.4～5）（表18.2.7）モルタル、プラスター面 ※B種 ・A種（施工箇所：）・せっこうボード面 ※B種 ・A種（施工箇所：）（表19.8.2）壁紙のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外・第三種（表19.9.2～3）種 別 種 別 施工箇所 厚さ（mm） 品質等○押出法 ※1種 b ○接合部 ○50 特定フロンを使用しないもの・ポリスチレンフォーム ※2種 b ※一般部 ・25 特定フロンを使用しないもの・保温板 ・50・硬質ウレタンフォーム ※A種2 ○屋上 ○50・現場発泡断熱材 ※断熱材補修部分 断熱材の性能値が確認できる資料を監督職員に提出する・一般部 ・15 難燃性 ・3級・2級製造所 性能値が確認できる資料を監督職員に提出する・断熱材兼用型枠 ・木質系 ※壁（図示の範囲） ※40以下 断熱抵抗＝厚さ/熱伝導率＝0.676以上（m²・k/w）製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したものロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ウリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外・第三種

特 記 事 項

山梨建築設計監理事業協同組合

承認 代表設計者 設計担当者 A1→N/S A3→N/S 工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備（建築主体）工事（北→マアツン舎） 図面名称 特記仕様書（3）

一級建築士 第145710号 一級建築士 第202153号 設計年月日 佐野 正秀 初鹿 和久

北ヤA-04 No.

②
植栽工事

1
フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	仕上り高 (mm)	適用地面時 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パネル構法 ・清構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・清構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・清構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したものを又は同等品とする。

表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による
スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 図示
コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル 配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上
フリーアクセスフロア全面積に対する設置割合
※20～30％
空調用吹き出しパネル ※無し
・有り（※固定式 ・可変式 ；施工箇所は図示）

(20.2.3)

構造形式	パネル部の 総厚さ (mm)	表面材種 厚さ (mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式	・60	※鋼板 (※0.6・0.8)	※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け	・あり () ・なし	・あり () ・なし

(20.2.4)

遮音性能	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ (36db以上)		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による
遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する

(20.2.5)

表面仕上げ材
※メラミン樹脂系化粧板（標準色 アルミ製コーナーエッジ付き）
・ポリエステル樹脂系化粧板
足形状 ※幅木型 ・足金物型

(20.2.6)

材 種	ステンレスSUS304
形 状	ビルルタイヤ入り 両端フラットエンド ※有り（・ステンレス製 ※ビルル製） ・無し
幅 (mm)	約35
取付け工法	※接着工法 ・埋込み工法

(20.2.8)

種 別	寸法 (mm)	色 彩	備 考
・黒板	※焼付け	※緑 ・黒	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分
・ホワイト ボード	※ほうろう	※白	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分

(20.2.9)

寸法 (mm)	図示
厚さ (mm)	※5

(20.2.10)

衝突防止表示
※図示（市販品 ※ステンレス製 径約30mm ・）
（・両面 ・片面）
・無し
表示標準。案内用図記号についてはJIS Z 8210による
誘導標準。非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

(20.2.11)

・衝突用成形ライニング材
最高使用温度 ※650℃ ・400℃
・キャストابل耐火材
工 法 ※こて押さえ
最高使用温度 ※400℃

(20.2.12)

形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)
※横型	※ギヤ式 ・コード式	※アルミニウム合金製	※25
	・操作棒式		
・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

(20.2.13)

防炎性能	※有り	
施工箇所	装 置 電動 手引	備 考

(20.2.14)

施工箇所	形 式	装 置	ひだの種類	性 能	備 考
	片引 引分	電動 ひも引 手引			

14
カーテンレール

15
ブラインドボックス
及びカーテンボックス

16
耐震スリット

17
止水板

18
天井点検口

19
床点検口

20
鋼製書架及び物品棚

21
かざ箱

22
くつふきマット

23
流し台ユニット

24
屋内掲示板

25
洗面カウンター

26
防煙垂れ壁

27
視覚障害者用床タイル
（誘導用及び
注意喚起用床材）

28
旗竿

29
旗竿受金物

30
フェンス

31
屋外掲示板

32
車止め支柱

33
収納家具

34
エキスパンション
・ジョイント金物

(20.2.14)

材 種	※アルミニウム製 ・ステンレス製
形 式	・片引き ・引分け（※縮減用は300mm以上の召合せの重掛けとする）

・市販品（アルミニウム製 押出し型材）
溝幅×深さ (mm) ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80 ・
色彩 ※B－1 ・B－2（※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）
図示

方 向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向 ・水平方向	※完全（金貫通型）スリット	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し

目 地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）
目地寸法 (mm)	※20×10	※20×10

形 状 ・据置式 ・壁張り式 ・差込式
寸 法
製造所

材 質 アルミニウム製（※隠蔽タイプ ・目地タイプ）

材 質 アルミニウム製（受け枠 ※アルミ製 ・ステンレス製）

種 類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ
・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※1種 ・2種 ・3種

市販品
形 式 ・30組用 ・60組用 ・120組用 ・

市販品
材 質 ・塩化ビニル製（コイル状 ステンレス製受枠） ・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム製（受枠とも） ・ステンレス製（受枠とも）

種 類	寸法 (L＝mm)	適用内容	規格・品質等
○流し台	※1200 ・1500 ・1800	トラップ付き	※優良住宅部品
・コンロ台	※600 ・700	バックガード ※有り	（セクショナルキッチンⅠ型）
・つり戸棚	※1200 ・900 ・600		
・水切り棚	※1200 ・900	ステンレス製 ※1段式	※市販品

枠の材質 ※アルミニウム製
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・

材 種 ・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ・人工大理石
奥行き (mm) ・約450 ・約600

・固定式	材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考
※網入り磨板ガラス ・網入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き	

・可動式	種 類	材 質	高さ (mm)	備 考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）	
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り	

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

ブロックパターンはJIS T 9251による
色彩は黄色を原則とする
屋 内 ※塩化ビニル製 ・磁器又はせっ器質タイル（※300 ・）
・レジンコンクリート製
屋 外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はせっ器質タイル（※300 ・）

材 質 ※アルミニウム合金製
形 式 ※テーパー型 ・同一断面型
地上高さ (m) ・6 ・8 ・10 ・12
操作方法 ※ハンドル式 ・ロープ式
固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・バンド式
製造所

材 種 ステンレス製SUS304
・ビルル被覆エキスパンドフェンス
○樹脂塗装メッシュフェンス

照明器具 ※有り ・無し
施 錠 ※有り ・無し
製造所

※ステンレス製（上下式鎖内蔵型） 径114.3mm t＝2.5mm H＝G L＋700mm
※スプリング付 ・スプリング無し

材質 ・アルミ ・ステンレス
クリアランス ・50 ・100 ・150 ・
耐火性能 ・有り（ ） ・無し
防水型 ※適用する ・適用しない

②
排水工事

1
排水管

②
排水枳及びびふた

③
埋戻し土

4
浸透管及び浸透枳

22
舗装工事

1
盛り土に用いる材料

2
遮断層及び凍上抑制層
の材料

3
路床安定処理

4
路床土の支持力比試験

5
路床締固め度の試験

6
路盤材料

7
アスファルト舗装

8
コンクリート舗装

9
透水性
アスファルト舗装

10
ブロック系舗装

(21.2.3)（表21.2.2）（21.3.1～3.2）

材 種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（※1種 ・2種）	B形（ゴム接合）
・硬質ポリ塩化ビニル管	※V P ・V U	
・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管	・R E P－V U	○
・硬質ポリ塩化ビニル管	・D V	

車道部の排水管の数設 (21.3.1～2)
※図示
・砂基礎（地床厚さ20cm以上 材料 山砂の類）

(21.2.2)

種 類	適用荷重
・水封形 ・密閉形（テーパー・パッキン式） ・簡易気密形（パッキン式）	・T－2用 ・T－6用 ・T－14用 ・T－20用

グレーチングふた (21.2.2)

材 質	形 式	種 類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
・鋼製 ・ステンレス製	※受枠付き ボルト固定 ※無し ・図示	・溝ふた用 ・斜ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用	・歩行用 ・T－2用 ・T－6用 ・T－14用 ・T－20用	※細目 ・細目	※凹凸形 ・凹凸形

※B種 ・ (21.2.2～3)（表3.2.1）
製造所

(22.2.3)（表22.2.1）

・A種	※B種	・C種	・D種
-----	-----	-----	-----

(22.2.2～3)

・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・
厚さは図示
・凍上抑制層 ※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン 切り込み砂利 ・砂
厚さは図示
・フィルター層 ※透水性舗装 車道部150mm・歩道部50mm (表22.2.1)

(22.2.2)（表22.2.2）

※添加材料による安定処理
種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種
・生石灰（ ） ・消石灰（ ）
添加量 kg/m³（目標C B R ※5以上 ・）

(22.2.5)

※行う（※乱した土 ・乱さない土）

(22.2.5)

※行う

(22.3.3)

※再生クラッシャーラン（R0-40）
・クラッシャーラン（0-40）又はクラッシャーランスラグ（0S-40）
透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの

(22.4.2)（表22.4.1）

舗装の種類	車道部の基層	カーレー舗装の種類
※アスファルト舗装 ・カラー舗装	※無し ・有り ※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物

カラー舗装の着色骨材 ・有色骨材（焼成） ・着色骨材（樹脂被覆）
アスファルト ※再生アスファルト ○ ストレートアスファルト (22.4.3)

(22.4.4)（表22.4.4）

加熱アスファルト混合物の種類	寒冷地域
区分	※一般地域
表層	※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）
基層	※密粒度アスファルト混合物（13F） ・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）

シールコート ※行わない ・行う（施工範囲） (22.4.5)

(22.4.6)

アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う

(22.5.3)（表22.5.2～3）

早強セメント ※使用しない ・使用する
注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ

(22.5.3～4)（表22.5.6）

溶接金網 ※有り ・無し
厚さ試験 ※行わない 行う

(22.7.4)（表22.7.6）

アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う

(22.8.2～4)

種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材
※普通平板（N） ・洗出平板（W）	※300角	※60	※砂 ・モルタル

(22.8.2～4)

種 類	厚さ (mm)	施工方法	基 層
※小舗石（花こう岩）	※80～100	※うろこ張り	※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装

・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2～4)

種 類	厚さ (mm)	施工方法	基 層
※小舗石（花こう岩）	※80～100	※うろこ張り	※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装

11
路面標示用塗料

23
植栽工事

2
植込み用土

3
土壌改良材

4
支柱材

5
幹巻き用材料

6
芝張り

7
屋上緑化

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅 (mm)	布厚さ (mm)	揮発性有機溶剤の含有率
・1種	常温	凍状	※白	※150	※1.0	塗料総質量に対して5%以下
・1種	加熱					
・3種1号	溶解	物体状				

(23.2.2～3)（表23.2.1～2）

適用	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲
※行う ・行わない	※20	※B種	※植栽範囲 ・図示

樹木 (23.2.2～3)（表23.2.1～2）

樹木の樹高 (m)	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲
・12以上	※100	※A種	・葉張り範囲
・7超～12未満	※80	・B種	ただし、低木は植栽範囲
・3超～7以下	※60	・C種	・図示
・3以下	※50	・D種	

工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

※現場発生土の良質土 ○客土（※畑土 ・黒土） (23.2.3)

※適用する
施工箇所 ※植栽範囲 ・図示 (23.2.3～4)

パークたい肥
有機物の含有量（乾物） : 70%以上
炭素窒素比（C/N比） : 35以下
陽イオン交換容量（乾物） : 70meq/100g以上
pH : 5.5～7.5
水分 : 55～65%
幼植物試験の結果 : 生育阻害その他の異常を認めない
窒素全量（現物） : 0.5%以上
りん酸全量（現物） : 0.2%以下
加里全量（現物） : 0.1%以上

発酵下水汚泥コンポスト
「金属等を含有産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする
ひ素 : 0.005%以下
カドミウム : 0.0005%以下
水銀 : 0.0002%以下
ニッケル : 0.03%以下
クロム : 0.05%以下
鉛 : 0.01%以下
有機物の含有量（乾物） : 35%以上
炭素窒素比（C/N比） : 20以下
pH : 8.5以下
窒素全量（現物） : 0.8%以下
りん酸全量（現物） : 1.0%以上
アルカリ分（現物） : 15%以下

※杉の焼丸土（間伐材） ○真竹 (23.3.2)

※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)

種類 ・こうり芝 ・野芝 (23.4.2)

(23.5.2)

屋上緑化システム ○
・管理方法による区分 ・省管理型
質量の上限値 () kg/m²
かん水装置 ・設ける 工事区分は図示
透水路、保水路及び排水層等
保水路及び排水層の鉛直方向の排水性能：240 l / m²・h 以上
耐荷重性能
省管理型：3×10⁴ N / m²以上の載荷重で異常のないこと。
耐根層の材料
合成樹脂耐根シート（厚さ3mm以上）又は抗根剤とする（耐根性能の実績を有すること）
植込み用土 製造所の仕様による
植栽の種類 製造所の指定するものとする
・管理方法による区分 ・管理型 (23.5.3)

特 記
事 項

承認

代表設計者

設計担当者

縮 尺

工事名称

図面名称

特記仕様書（4）

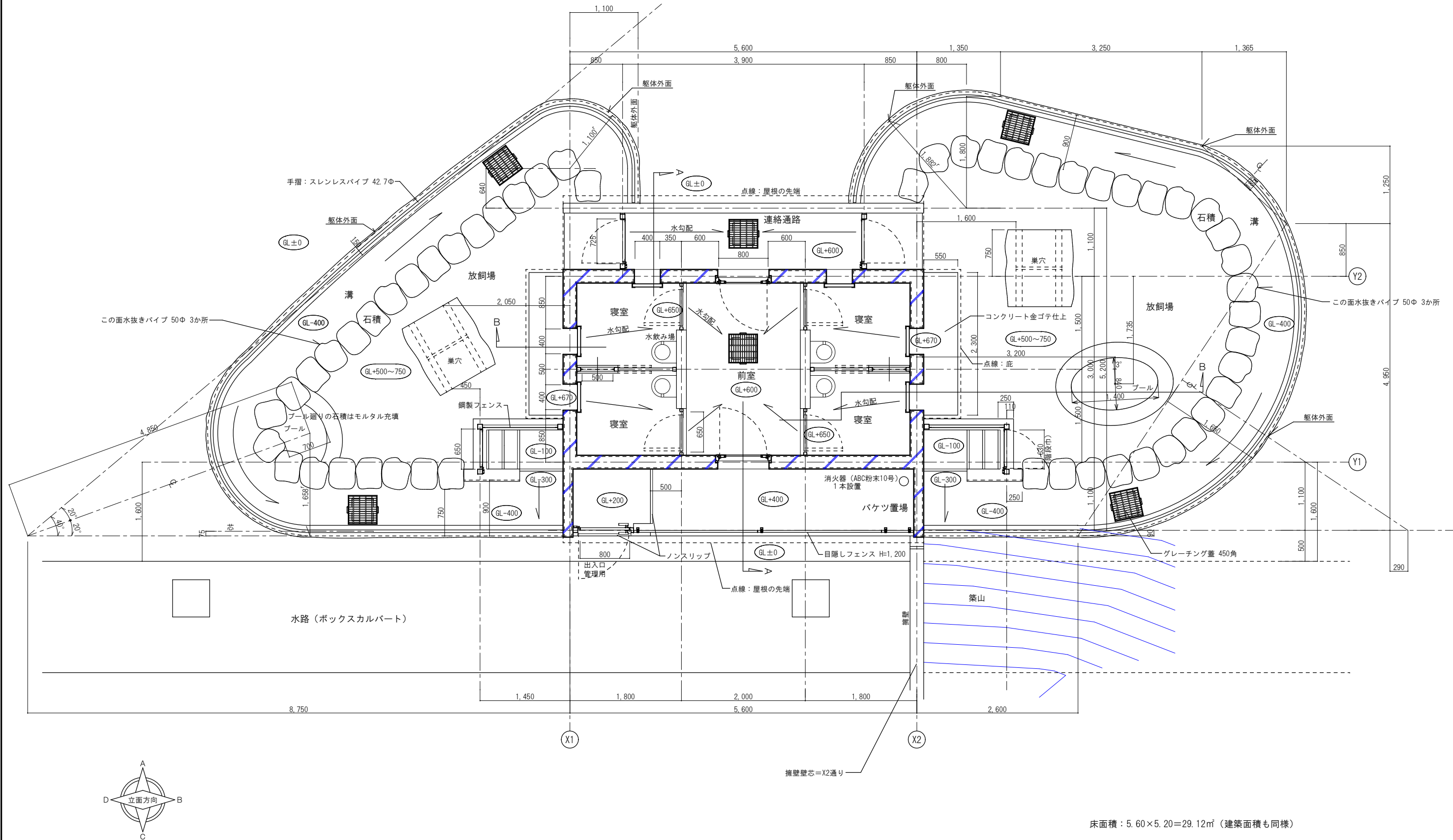
山梨建築設計監理事業協同組合

北ヤA-05

No.

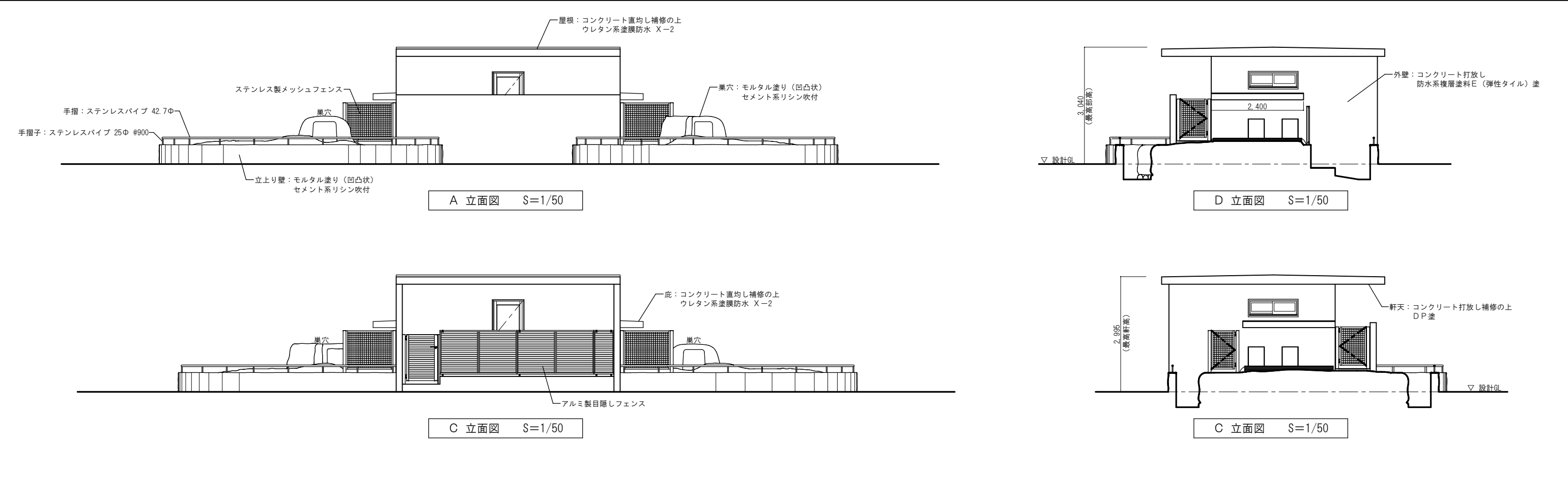
外 部 仕 上 表			
部 位	仕 上	部 位	仕 上
屋根・庇	コンクリート直均し補修の上、ウレタン系塗膜防水 X-2	放飼場柵	手摺：ステンレスパイプ 42.7Φ、手摺子25Φ
			立上り壁：コンクリート、モルタル塗一部モルタル団子（凹凸状）、セメント系リシン吹付
軒天	コンクリート打放し補修の上、D P 塗		内側壁：コンクリート打放し、保護塗料塗
			溝（床）：土間コンクリート金ゴテ仕上（勾配付）、排水柵：グレーチング蓋付
外壁	コンクリート打放し、防水系複層塗材E（弾性タイル）塗		階段：モルタル金ゴテ仕上、ノンスリップ付
			階段部分フェンス：ステンレス製メッシュフェンス（扉共）
開口部	アルミ製（目隠しフェンス共）、一部ステンレス製	放飼場	ステンレスメッシュ敷（設計QL-500）、土入れ替え
床	土間コンクリート金ゴテ仕上	巢穴	カルバート（鉄筋コンクリートU形 L=600 2連）、土盛
		プール	コンクリート打放し補修、保護塗料塗

内 部 仕 上 表										
	室 名	F L	床	巾 木	壁		天 井	廻 り 縁	天 井 高	備 考
					下 地	仕 上				
ヤマアラシ舎	寝室	±0	コンクリート金ゴテ仕上 （勾配付）			コンクリート打放し補修 保護塗料塗	コンクリート打放し補修 保護塗料塗		2.200	水飲み場（器具支給）
	前室	±0	コンクリート金ゴテ仕上 （勾配付）			コンクリート打放し補修 保護塗料塗	コンクリート打放し補修 保護塗料塗		2.200	排水柵：350角 グレーチング蓋（450角）付
	管理通路	±0	コンクリート金ゴテ仕上 （勾配付）			コンクリート打放し補修 防水形複層塗料E（弾性タイル）吹付	コンクリート打放し補修 D P 塗		2.200	排水柵：350角 グレーチング蓋（450角）付
	バケツ置場	－100 －300	コンクリート金ゴテ仕上			コンクリート打放し補修 防水形複層塗料E（弾性タイル）吹付	コンクリート打放し補修 D P 塗		2.400 2.600	目隠しフェンス（扉共）
<div><凡例（塗装記号）> ・ D P － 耐候性塗料（アクリル系ポリウレタン）</div> <div><メーカーリスト（同等品以上）> ・ 目隠しフェンス（扉共）：フェンスAB YM2型 横目隠2（リクシル）</div>										

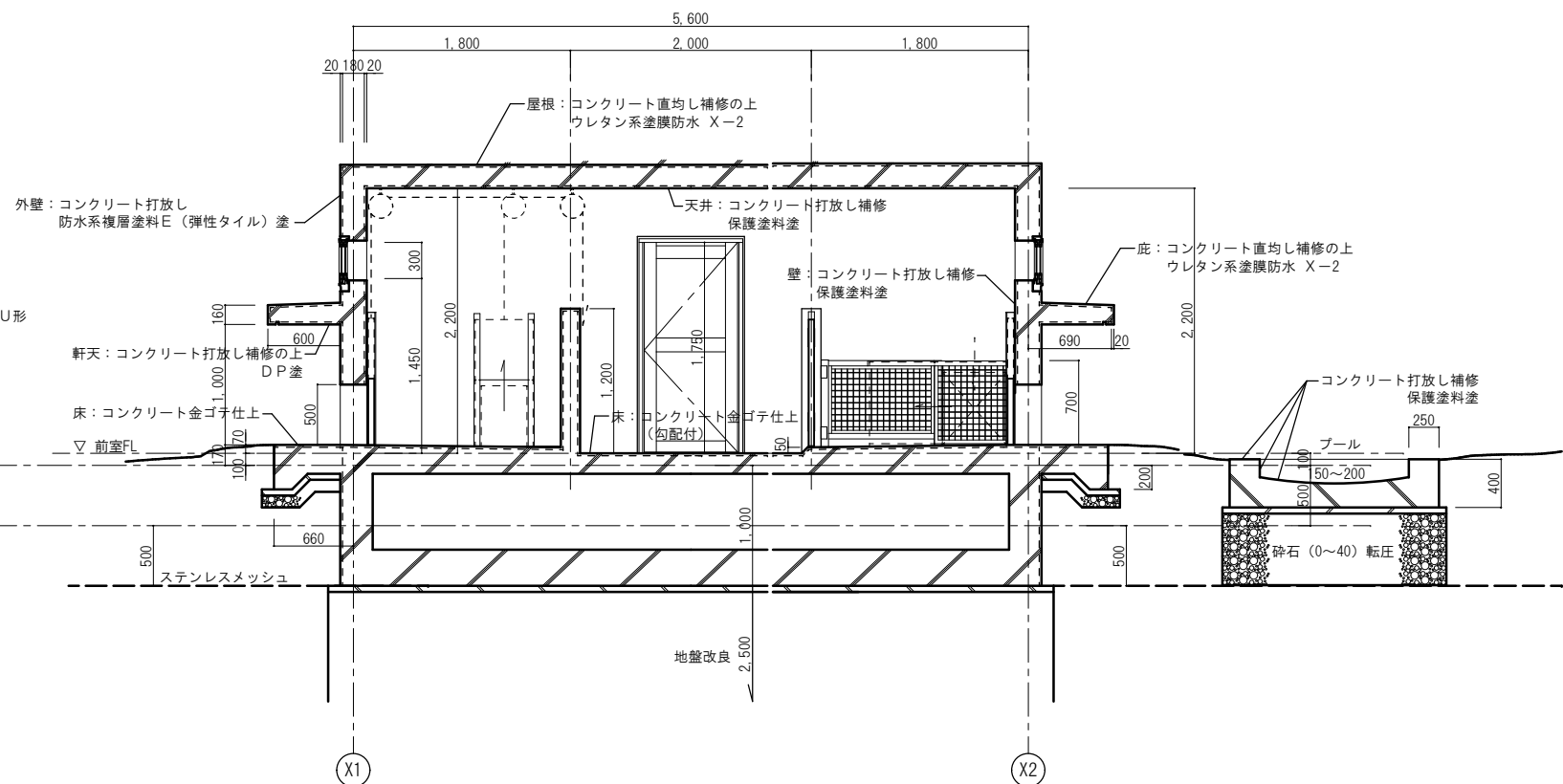
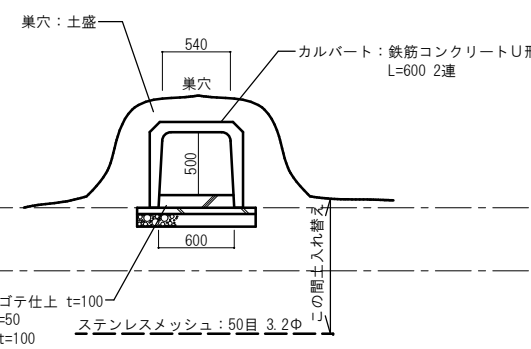
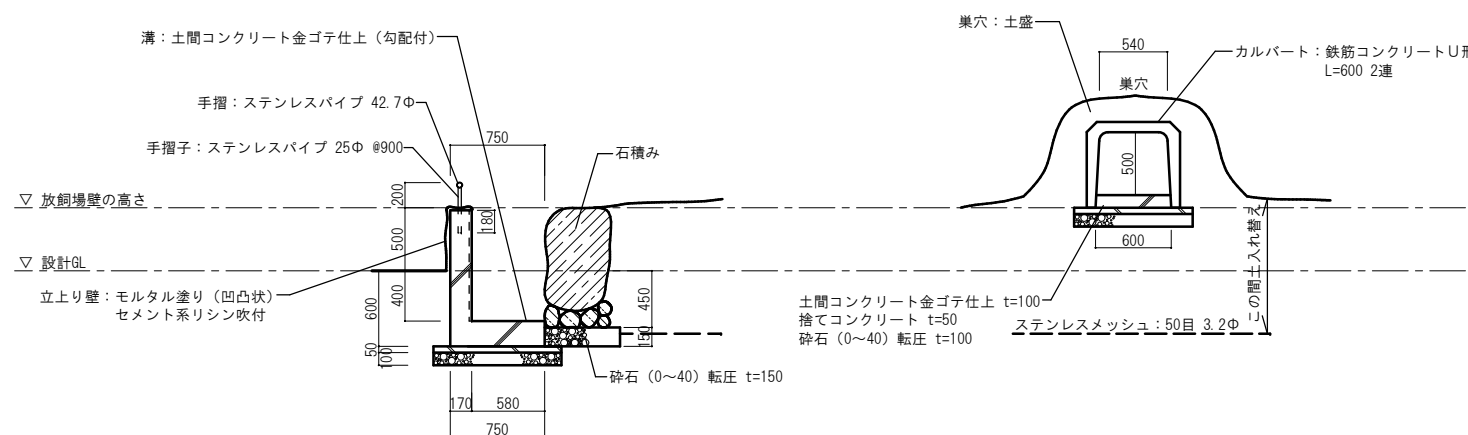
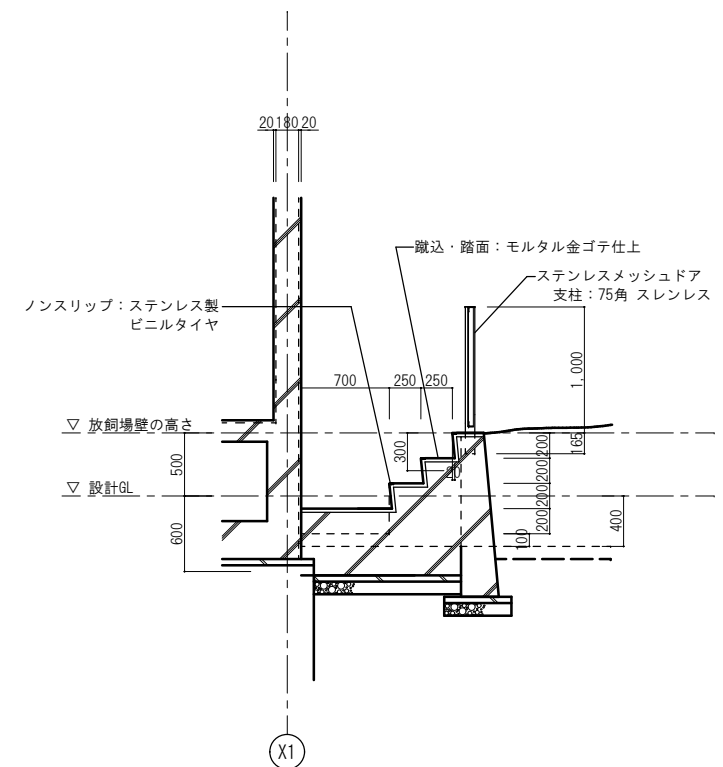
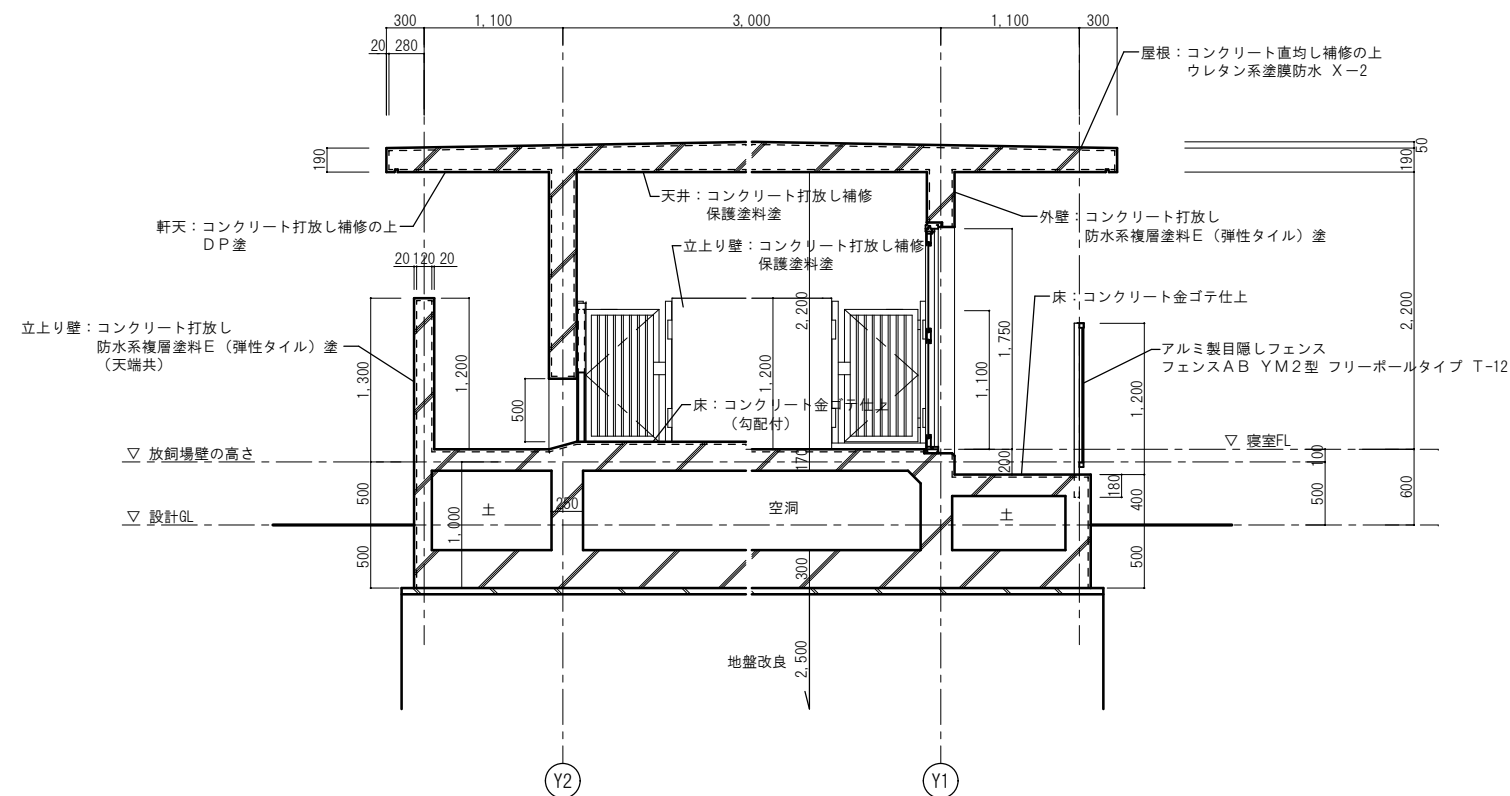



※ 設計GL=0=261.7
※ 巢穴・プールの位置については再度現場で打合せすること

特 記 事 項	<div><div></div><div>山梨建築設計監理事業協同組合</div></div>			承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺	工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北-ヤマ7ラシ舎)	図面名称 平面図	No. 北ヤA-07
					一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第202153号 初鹿 和久	A1→1/30 A3→1/60 設計年月日			



建具表 S=1/50					建具キープラン S=1/50
記号・数量	AW 1 2	AD 1 2	AD 2 1	SD 1 6	
形状					
場所	寝室	前室	管理用出入口	寝室	
形式・見込	引違い窓	片開きドア	片開きドア	引き上げ戸	
材質・仕上	アルミ（カラー）	アルミ（カラー）	アルミ（カラー）	スチール DP 塗（枠共）	
硝子	透明ガラス t=3.0	透明ガラス t=3.0	透明ガラス t=3.0	スチール DP 塗（枠共）	
金物	標準金物一式	標準金物一式+シリンドー錠	標準金物一式+シリンドー錠	滑車、ワイヤー、操作金具一式	
備考	網戸付		既製品：開き門扉AB、YM2型、片開き、柱使用		
記号・数量	SS 1 4	SS 2 2	SS 3 2	SS 4 2	
形状					
場所	寝室	寝室	管理通路	放飼場	<p>※ 既製品はリクシルの品番による（同等品以上）</p> <p>無窓階の検討 必要面積：（床面積）29.12×1/30=0.971 有効開口部面積（AD-1）：0.80×1.75×2か所=2.80>0.971 ∴OK</p> <p>換気のチェック 必要換気面積：5.60×3.00×1/20=0.84 有効開口部面積：（AW-1）1.20×0.30×1/2×2か所+（AD-1）0.8×1.75×2か所=3.16>0.84 ∴OK</p>
形式・見込	片開きドア	片引き戸+落し戸+FI X	片開きドア	片開きドア+フェンス	
材質・仕上	ステンレス製	ステンレス製+落し戸：スチール板t=3.0 DP 塗装	ステンレス製	ステンレス製	
硝子					
金物	標準金物一式+シリンドー錠	標準金物一式+シリンドー錠	標準金物一式+シリンドー錠	標準金物一式+シリンドー錠	



特 記 事 項	 山梨建築設計監理事業協同組合	承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺	工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ヤマ710号) 図面名称 断面詳細図	北ヤA-09 No.
			一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第202153号 初鹿 和久	A1→1/30 A3→1/60 設計年月日		

構造設計標準仕様

適用は ☒ 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

(1) 工事名称 遊亀公園付属動物園第Ⅱ期整備（建築主体）工事（北ーヤマアラン）
建築場所 山梨県甲府市太田町10-1

(2) 工事種別 ☒新築 ☐増築 ☐増改築 ☐改築

(3) 構造種別
☐木造（W） ☐補強コンクリートブロック造（CB） ☐鉄骨造（S）
☐鉄筋コンクリート造（RC） ☒壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
☐鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC） ☐壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
☐プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）

(4) 階数
地下 階 地上 1 階 塔屋 階

(5) 主要用途 動物園舎

(6) 屋上付属物
☐広告塔 ☐太陽光発電パネル0.20KN/㎡ ☐キュービクル KN ☐空調室外機

(7) 増築計画 ☐有（ ） ☐無

(8) 付帯工事
☐門扉 ☐擁壁 ☐外部外構工事 ☐

(9) 特別な荷重
☐エレベータ 人乗（ロープ式 油圧式） ☐リフト KN ☐クレーン KN
☐倉庫積載床用 N/㎡ ☐受水槽 KN

(10) 構造計算ルート X方向ルート -（1） Y方向ルート -（1）

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種類	設計基準強度 F _c =N/cm ²	耐久設計基準強度 F _d =N/cm ²	スラブ cm	備考
捨コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	18		18	
土間コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	18	21	15	
基礎、基礎はり	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	18	21、24	24（標準）	18
柱、はり、床、壁	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	18	21、24	24（標準）	18
	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	18、21、24			比重
押えコンクリート	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	15、18、24		18	比重
混和剤					

(2) コンクリートブロック（CB）

☐A種 ☐B種 ☐C種 厚 ☐100、☐120、☐150、☐190、

(3) 鉄筋

種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	<input checked="" type="checkbox"/> SD295A	D10～D16	基礎、躯体
	<input type="checkbox"/> SD295B		
	<input type="checkbox"/> SD345		
	<input type="checkbox"/>		
高強度せん断補強筋	<input type="checkbox"/>		
丸鋼	<input type="checkbox"/> SR235		
溶接金網（JIS G 3551）	<input type="checkbox"/> 6φ@150		

(4) 鉄骨

種類	使用箇所	現場溶接	備考
<input type="checkbox"/> SS400 <input checked="" type="checkbox"/> SN400B <input type="checkbox"/> SN400A、B		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> STKR400 <input type="checkbox"/> STKR490 <input checked="" type="checkbox"/> STK400		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> BCR295 <input type="checkbox"/> BCP235		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SM490A <input type="checkbox"/> SN490B <input type="checkbox"/> SN490C		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SSC400 <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

(5) ボルト

☐汎用、F8T ☐汎用、F10T ☐特殊、S10T 認定品（☐M12、☐M16、☐M20、☐M22）

☐中ボルト

☐アンカーボルト
M 16、12 φ = mm L = mm
☐SNR490B M 16 L = mm ナット（☐シングル、☐ダブル）
☐SS400 M 12 L = 400 mm ナット（☐シングル、☐ダブル）

☐スタッドボルト
φ = mm L = mm 使用箇所（☐柱 ☐大梁 ☐小梁）
φ = mm L = mm 使用箇所（☐柱 ☐大梁 ☐小梁）

(6) 屋根、床、壁

☐ALC版 厚 H = 厚
☐折版 型式 H = 厚
☐CLルーフ H = 厚
☐特殊デッキプレート H = 厚
☐フラットデッキ 厚

3. 令129条の2の3の事項

☒建築設備（昇降機を除く）、建築設備の支持部及び緊結金物は腐食または腐朽の恐れのないものとする。こと。
☐屋上から突出する水櫃、煙突冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
☐煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。
☐煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は、厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
☒建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
☒風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障がない構造とすること。
☒建築物の部分を通して配管する場合に於いては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
☒管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずる恐れがある場合において、伸縮継ぎ手又は可換継ぎ手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
☒管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
☐法第20条第一号から3号までの建築物に設ける屋上から突出する水櫃、煙突その他これらに類するものにあっては建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造上安全なものとする。こと。

4. 地盤

(1) 地盤調査資料

☒有（☐敷地内 ☐近隣） ☒ボーリング調査 ☐平板載荷試験 ☒SWサウンディング
☐無（調査予定 ☐有 ☐無）

(2) 地盤調査計画

☐ボーリング調査 ☐静的貫入試験 ☐標準貫入試験 ☐水平地盤反力係数の測定
☐土質試験 ☐物理探査 ☐平板載荷試験 ☐SWサウンディング

(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

(4) ボーリング標準貫入値、土質構成（基礎・杭の位置を明記すること）

深度	土質	N値	標準貫入試験	調査地番
			10 20 30 40 50 60	敷地内
1				
2				
3				
4				
5				
6				

☐調査地番 敷地内
☐支持地盤、地層及び深さについてのコメント
☐位置図
☐孔内水位 GL - m

5. 地業工事

(1) 直接基礎 ☐ベタ基礎 ☒布基礎 ☐独立基礎 試験掘 ☐有 ☒無

深さGL-0.50m、支持層—地盤改良土 長期許容支持力度 50 KN/㎡ 載荷試験 ☐有 ☒無

(2) 地盤改良基礎 支持層—礫混じり粘土

改良工法	仕様・支持地盤等	施工法	備考
<input checked="" type="checkbox"/> 浅層地盤改良		<input checked="" type="checkbox"/> 掘削、混入後 転圧	
<input type="checkbox"/> 環境バイタルS	礫混じり粘土	<input type="checkbox"/> 環境バイタルS工法同等工法	技術審査証明取得工法とする。

地盤改良仕様 ☒施工計画書承認 ☒施工結果報告書

試験（☒有 ☐無）（☐一軸圧縮試験 ☐載荷）

改良杭径（mm）	設計支持力（KN/本）	杭先端の深さ（m）	本数	特記事項

6. 鉄筋コンクリート工事（施工方法等計画書）

(1) コンクリート

☒コンクリートはJIS認定工場の製品とし施工に関してはJASS5（2009年度版）による。
☒耐久設計基準強度 F_d ☐一般 ☒標準 ☐長期
☒セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
☒調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
☒寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
☒フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一資料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
☒構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体（JASS5 T-603）は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が150m³をこえる場合は150m³ごまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。
☒ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技師または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

(2) 鉄筋

☒鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。
☒鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）（2）」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）（2）」による。
☒D19未満は、すべて重ね継手とする。継手（D19以上）をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋の圧接工事標準仕様書」による。
☒ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごとに1回行い、1回の試験は30本以上とする。
外観検査 ☒有 ☐無、引張試験 ☐有 ☒無、超音波探傷試験 ☒有 ☐無
☐柱の帯筋（H00P）の加工方法は、☐H型（タガ型） ☐W型（溶接型） ☐S型（スパイラル型）とする。
☒コンクリート及び鉄筋の試験は下記の試験機関で行うこと

試験機関名 公共試験期間
代行業者名
代行業者とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

(3) 型枠

☒材料 合板厚 12mmを標準とする。 ☒施工 JASS5による。
☒型枠存置期間

種類 部位 （セメント の種類）	せき板				支 柱			
	基礎、はり側、柱、壁		スラブ下、はり下		スラブ下		はり下	
花道 壁間の 平地 気温	早強ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント	早強ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント	早強ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント	早強ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント
	高炉セメント A種	高炉セメント A種	高炉セメント A種	高炉セメント A種	高炉セメント A種	高炉セメント A種	高炉セメント A種	高炉セメント A種
	シリカセメント A種	シリカセメント A種	シリカセメント A種	シリカセメント A種	シリカセメント A種	シリカセメント A種	シリカセメント A種	シリカセメント A種
コン クリ ート の 圧 縮 強 度	15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
	5～15℃	3	5	6	10	12	25	28
	5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コン クリ ート の 圧 縮 強 度	設計基準強度の50%				設計基準強度の			
					85%			
	5N/mm ²				100%			

注）1 片持ばり、底、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。

注）2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。

注）3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。

注）4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。

注）5 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。

注）6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事（施工方法等計画書）

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

☐日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
☐鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
☐日本建築センター「冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル（改訂版）」

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの

☐製作工場 ☐製作要領書 ☐工作図 ☐施工計画書
☐認定または登録工場（ ） グレード以上 グレード都登録 ランク）
☐材料規格証明書または試験成績書
☐鋼材 ☐高力ボルト ☐特殊ボルト ☐頭付スタッド
※社）日本鋼構造協会「建築鋼構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート
☐社内検査表 ☐

(3) 工事監理者が行う検査項目

☐印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること。
☐現寸検査 ☐組立・開先検査 ☐製品検査 ☐建方検査 ☐

(4) 接合部の溶接は下記によること

☐平成12年度建設省告示第1464号第2号イ、ロ
☐鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱
☐日本建築学会「溶接工作規程、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
☐日本建築学会「溶接工事技術指針 工事現場施工編」

(5) 接合部の検査

☐溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備考
		社内	第三者	工事監理者	
<input type="checkbox"/> 突合せ溶接部	外観検査※	個	個	個	※平成12年建設省告示第1464号第二号による (目視及び計測) (注)東京都の要綱に基づき必要となる建築物の場合に実施する。
<input type="checkbox"/>	超音波探傷検査	個	個	個	
<input type="checkbox"/>	内質検査(注)	個	個	個	
		個	個	個	
		個	個	個	
	マクロ試験・その他	個	個	個	
<input type="checkbox"/>	外観検査(※)	個	個	個	
第三者検査機関名		工事監理者が指定する第三者検査機関			
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注1）現場溶接部については原則として第三者による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと
注2）知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主に報告すること

☐高力ボルトの検査

軸力導入試験 ☐要 ☐否 高力ボルトすべり係数試験 ☐要 ☐否
☐一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、供回り等の異常がないことを確認する
☐トルシア形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。

(6) 防錆塗装

☐防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めペイントは、☐JIS K 5621 ☐JIS K 5625 を使用して、4つ星2回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
☐現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料

☐別図（意匠図：耐火リスト）による

7. 設備関係

☒設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
☐エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
☒特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること
☒床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上とする。
☒給湯設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の挙動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15.0Kgを超える貯湯設備については、地震に対して安全上支障の無い構造として、平成24年国土交通省告示第1447号第5に規定する構造方法によること。
（完了検査までに、詳細図を指定確認機関に提出すること。）

8. その他

☒諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
☒各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
☒必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

特記事項



山梨建築設計監理事業協同組合

承認	代表設計者	設計担当者	縮尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第202153号 初鹿 和久	設計年月日

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備（建築主体）工事（北ーヤマアラン舎）
図面名称 構造設計標準仕様

北ヤS-01
No.

壁式鉄筋コンクリート配筋標準図（１）

１．一般事項

- （１） 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- （２） 記号
d：異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D：部材の成 R：直径
@：間隔 r：半径 CL：中心線 L0：部材間の内法距離 h0：部材間の内法高さ
ST：あばら筋 HOOP：帯筋 S. HOOP：補強帯筋 φ：直径

２．鉄筋加工、かぶり

（１） 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ筋・帯筋の末端部、またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形梁のキャップタイにのみ用いる。
図				キャップタイ
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)	
折曲げ寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上				※片持ちスラブ上端筋の先端

（２） 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スバイラ筋	SD295A SD295B、SD345	D16以下	3d以上
	上記以外の鉄筋	SD295A SD295B、SD345	D19以上	4d以上
			D16	
			D19~D25	6d以上

（３） 鉄筋の定着及び重ね継ぎ手の長さ

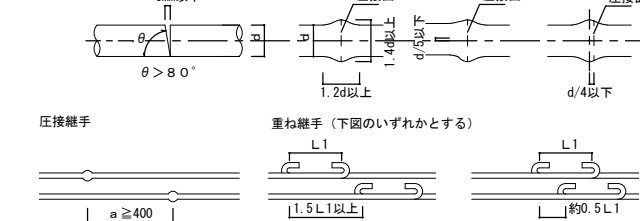
鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(kg/cm ²)	定着の長さ			特別の定着及び重ね継ぎ手の長さ(L1)
		一般(L2)	下ば筋(L3)	スラブ	
SD295A SD295B SD345	210 225 240 180	35d または 25dフックつき 40d または 30dフックつき	25d または 15dフックつき 150mm以上	10d か 150mm以上	40d または 30dフックつき 45d または 35dフックつき

コンクリートは普通 Fc=180kg/cm²以上240kg/cm²以下、軽量 Fc=180kg/cm²以上225kg/cm²以下

継手

- 末端フックは、定着及び重ね継ぎ手の長さに含まない。
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
- 直径の異なる鉄筋の重ね継ぎ手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする。

ガス圧接形状



（４） かぶり厚さ(単位mm)

構造部分	最小かぶり厚さ(mm)	設計かぶり厚さ(mm)
屋根スラブ・床スラブ・片持ちスラブ**・非耐力壁	20*	30*
耐力壁・壁梁・小梁・片持ち梁	30*	40*
土に接する耐力壁・壁梁・小梁・片持ち梁	40	50
基礎（捨コンクリート部分を除く）	60	70

* 耐久性上有効な仕上がりがない場合は、屋内・屋外にかかわらず10mm増しとする。
又、軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。

** 片持ちスラブ先端は、最小かぶり30mmとする。〔8-（1）の参照〕

（５） 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上 異形鉄筋
粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

（６） 鉄筋のフック (a~fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

- a. 丸鋼 b. あばら筋、帯筋 c. 煙突の鉄筋
d. 柱、梁（基礎梁は除く）の出隅部分の鉄筋（右図参照）
e. 単根梁の下端筋
f. その他、本配筋標準に記載する箇所

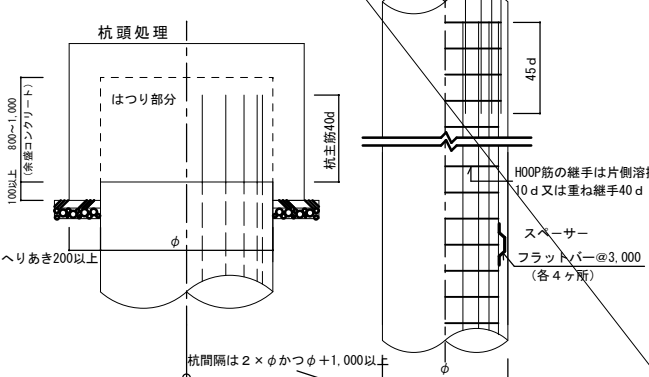
３．杭

（設計図書に記載なき場合は監理者と協議の上、下図にとり施工すること。）

（１） PHC杭の全てに補強を行う

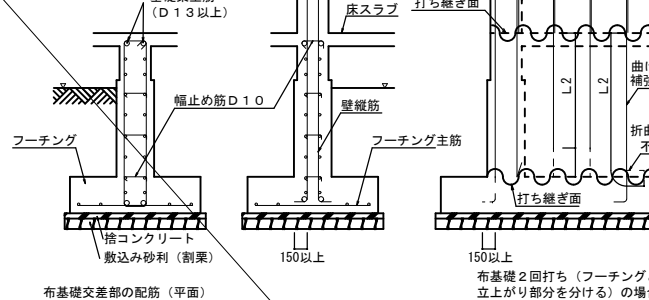
所定の位置に止まった場合			所定より低く止まった場合		
杭 径	300φ、350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補 強 筋	6-D13	8-D13	10-D13	8-D16	10-D16
H O O P					D10@150

（２） 現場打ちコンクリート杭

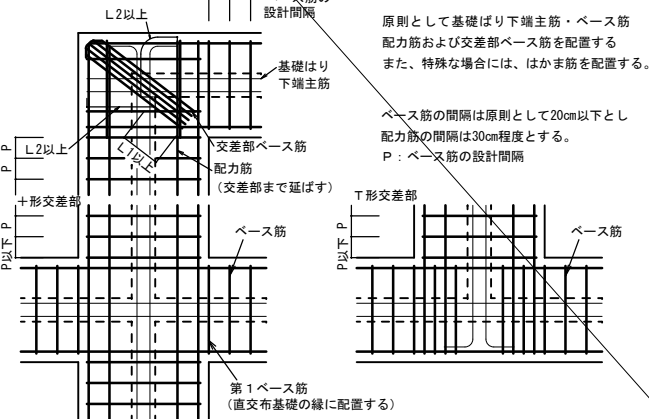


４．基礎

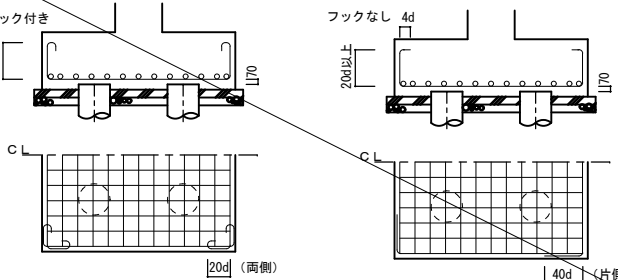
（１） 布基礎



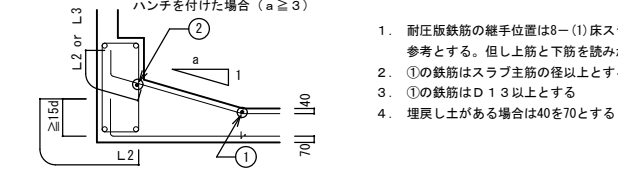
L形交差部



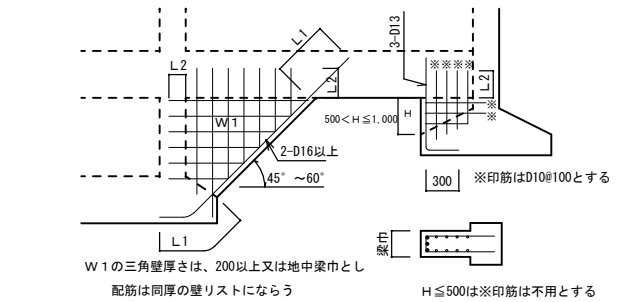
（２） 杭基礎



（３） ペタ基礎

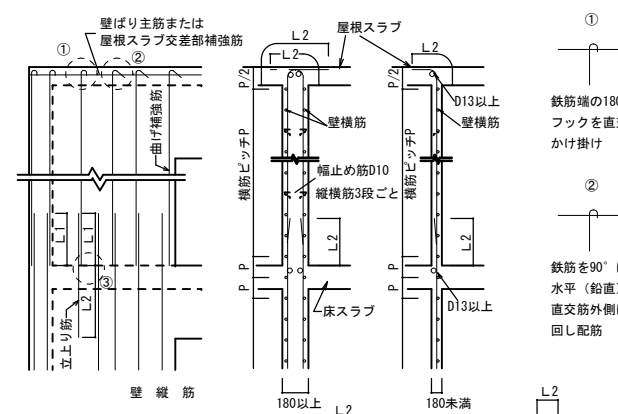


（４） 基礎接合部の補強

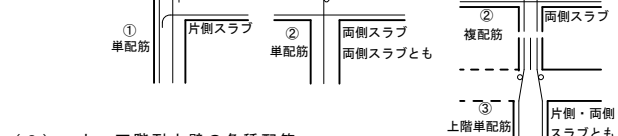


５．耐力壁

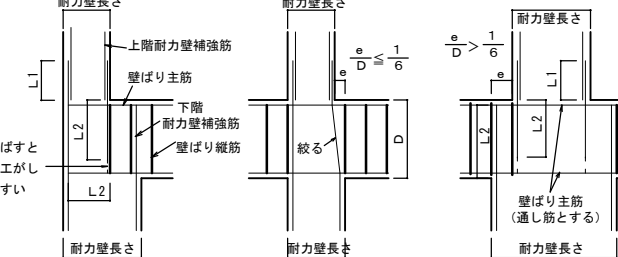
（１） 縦筋・曲げ補強筋・縦補強筋の定着



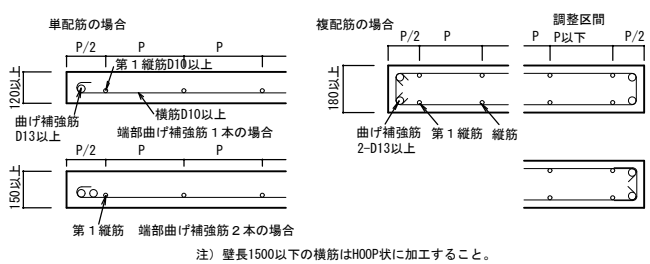
耐力壁と床・屋根スラブ



（２） 上・下階耐力壁の各種配筋

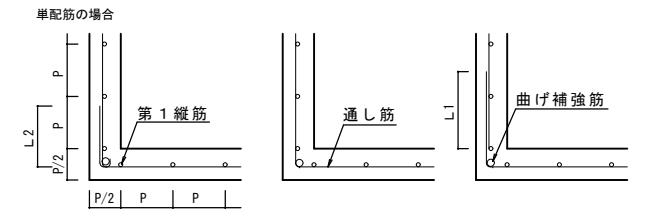


（３） 耐力壁の縦・横筋の配置

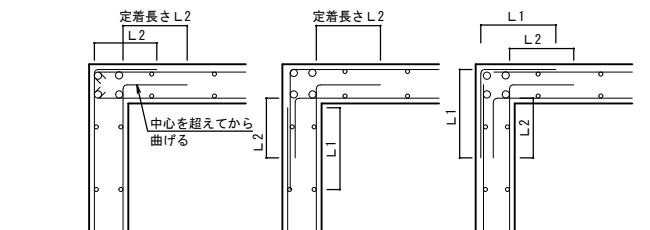


（４） 耐力壁が交差する場合（平面）

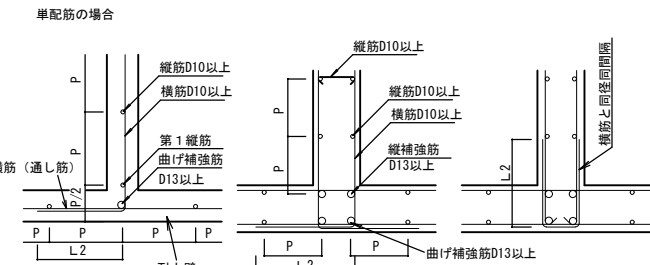
㊶ L形交差部の縦・横筋などの配置



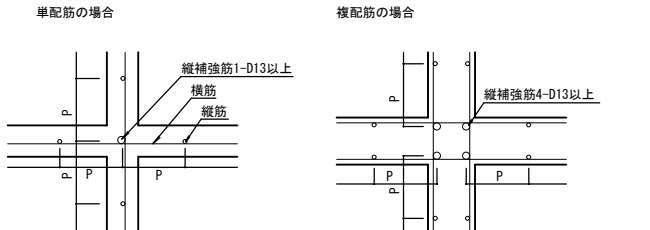
複配筋の場合



㊶ T形交差部の縦・横筋などの配置



㊶ 十形交差部の縦・横筋などの配置



６．使用可能な鉄筋の最大径（標準）

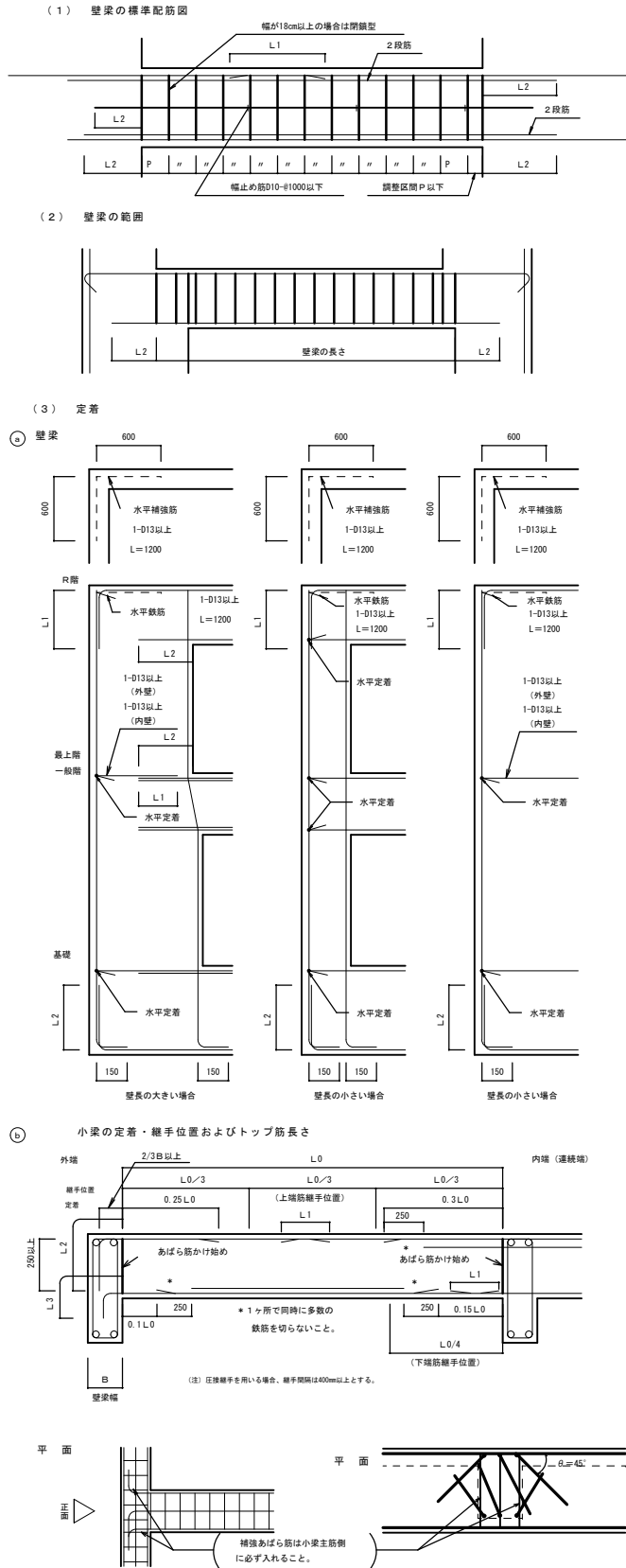
部位	耐力壁	壁・梁 がりよう 小 梁	布基礎 基 礎 梁	ス ラ ブ	非 耐 力 壁	扉
壁式鉄筋 コンクリート造	D22	D22	D25	D16	D16	D16



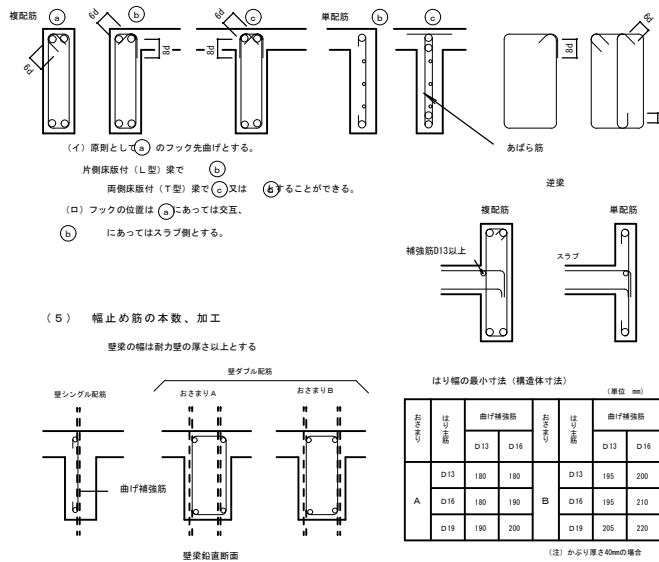
壁式鉄筋コンクリート配筋標準図（2）

L＝鉄筋コンクリート構造
標準図（1）の2～（3）による。

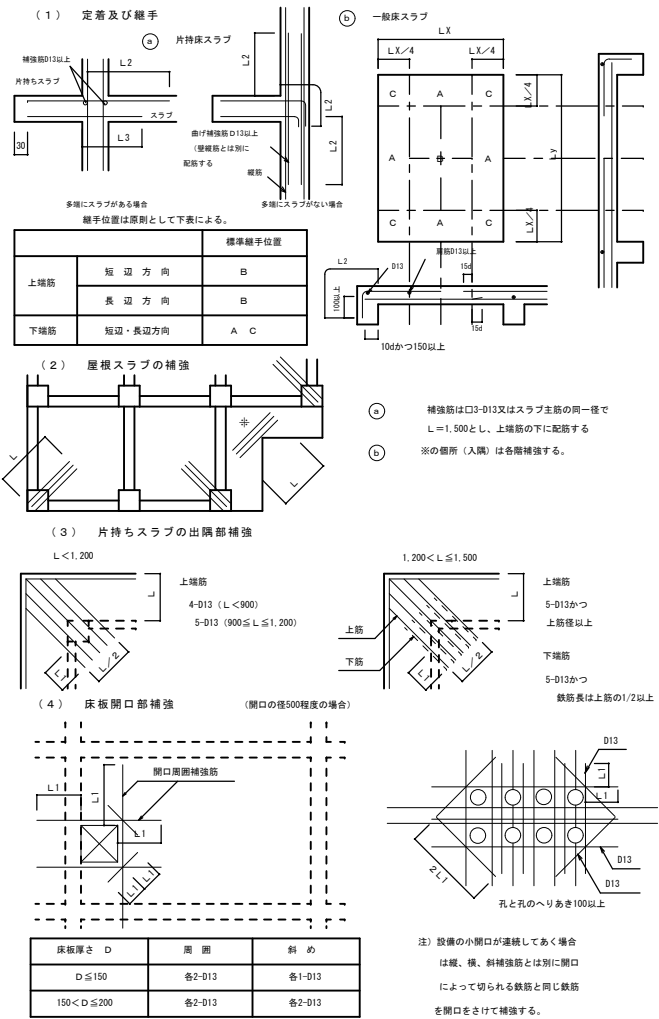
7. 壁梁、小梁



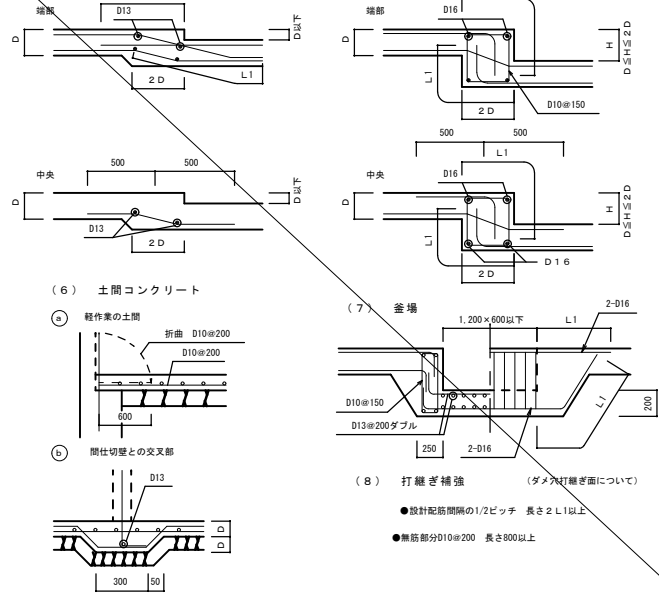
(4) あばら筋の型



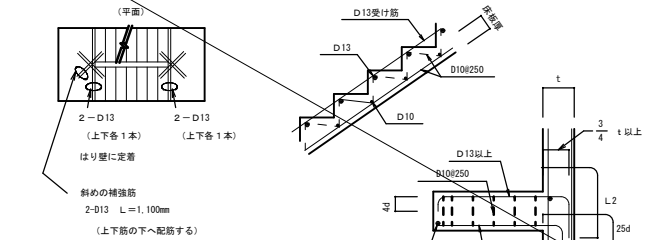
8. 床板



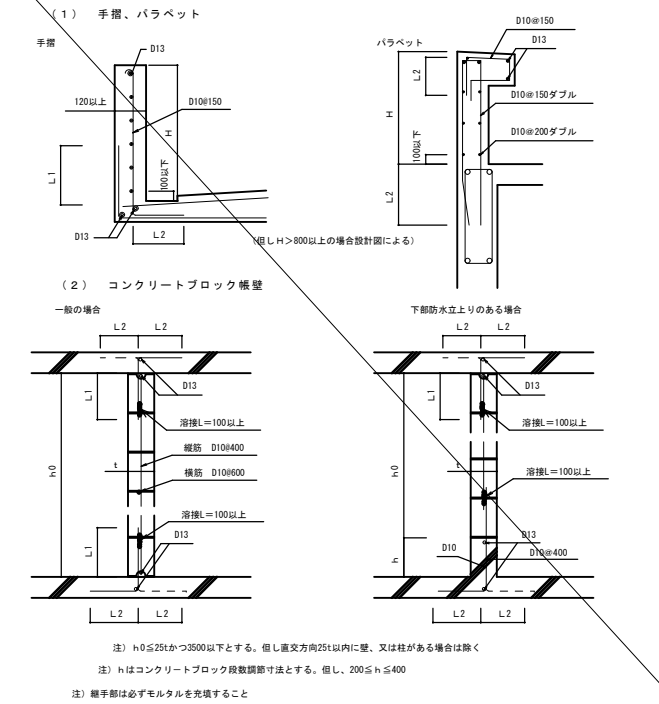
(5) 床板段差



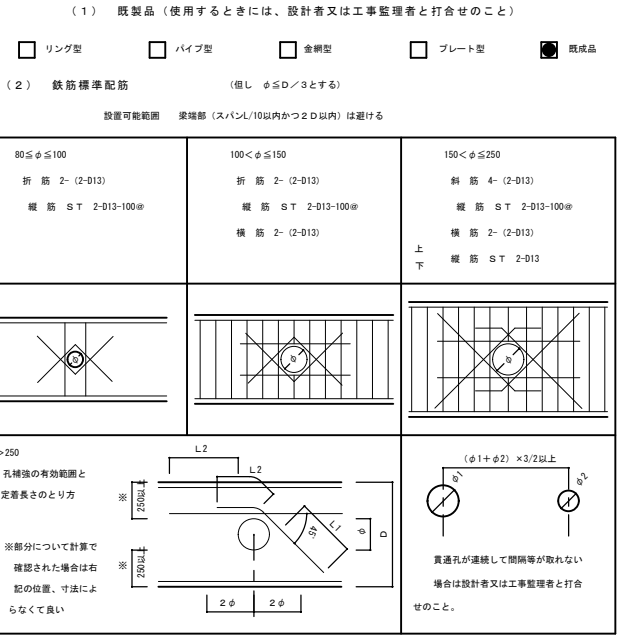
9. 階段



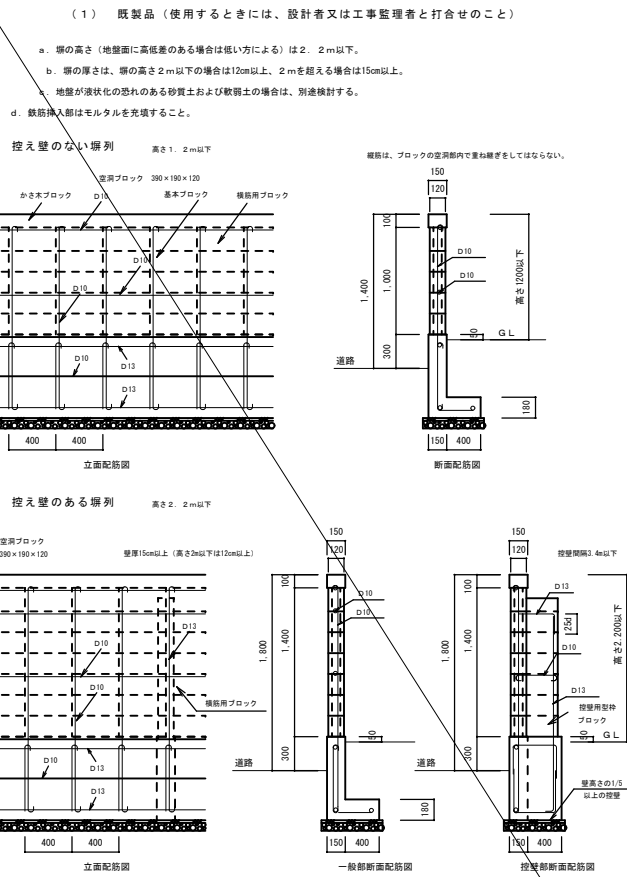
10. その他



11. 梁・壁柱 貫通孔補強



12. コンクリートブロック塀



特記事項

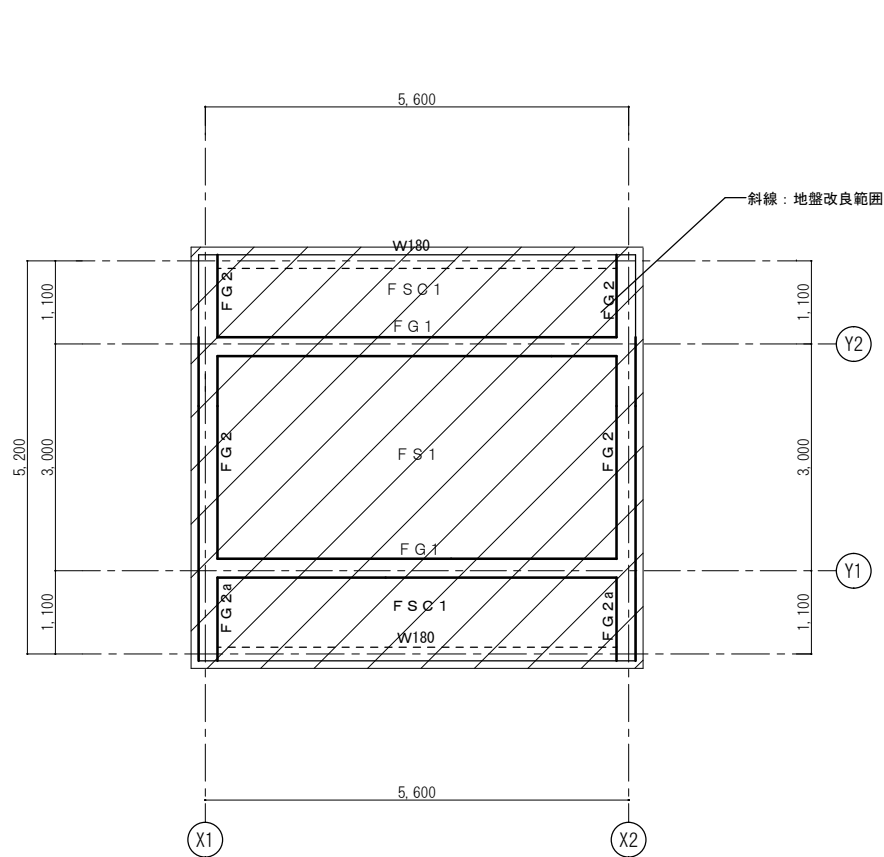


山梨建築設計監理事業協同組合

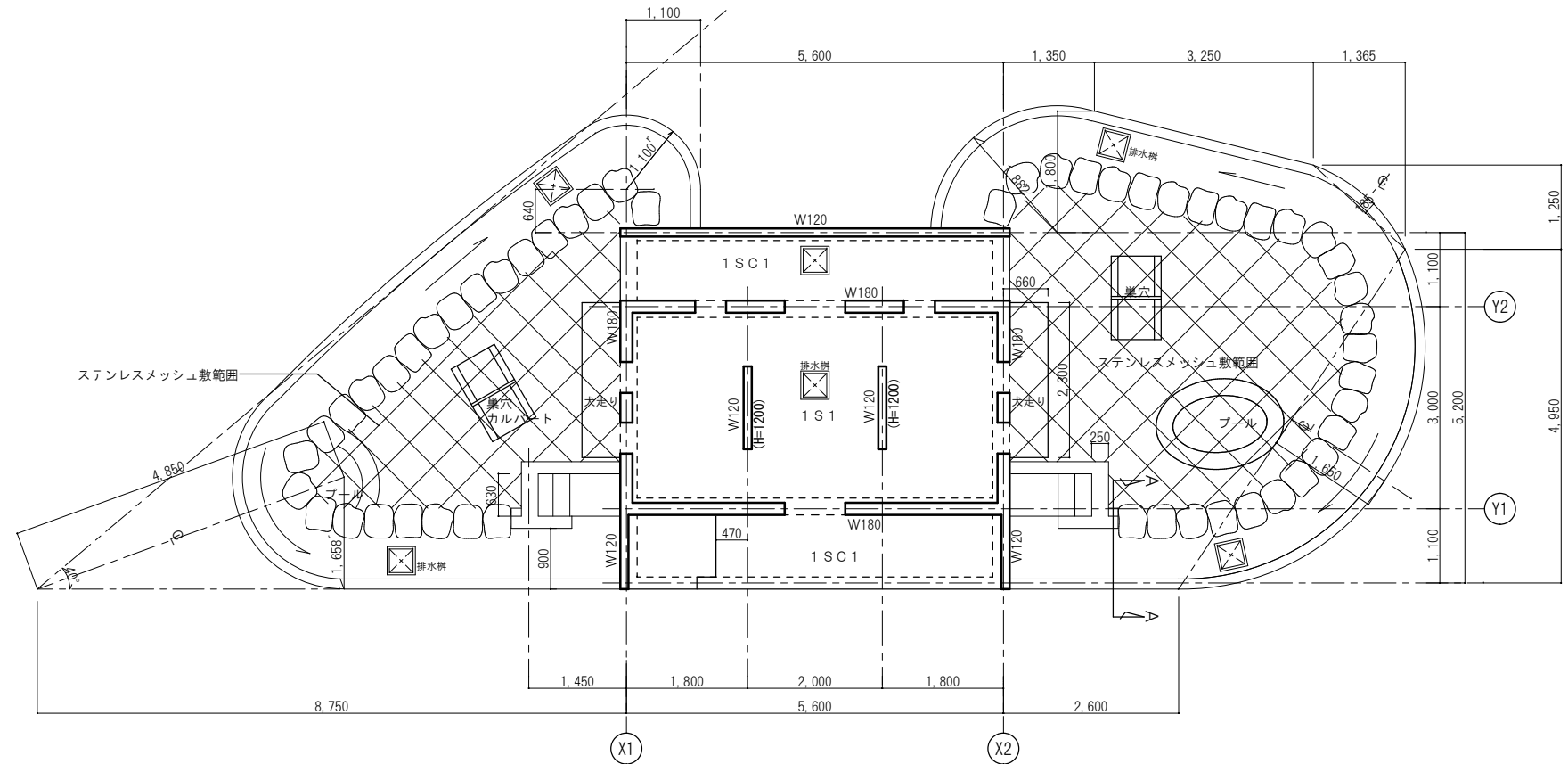
承認 代表設計者 設計担当者 縮 尺
一級建築士 一級建築士
第145710号 第202153号
佐野 正秀 初鹿 和久
設計年月日

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事（北・ヤマラシ舎）
図面名称 壁式鉄筋コンクリート配筋標準図（2）

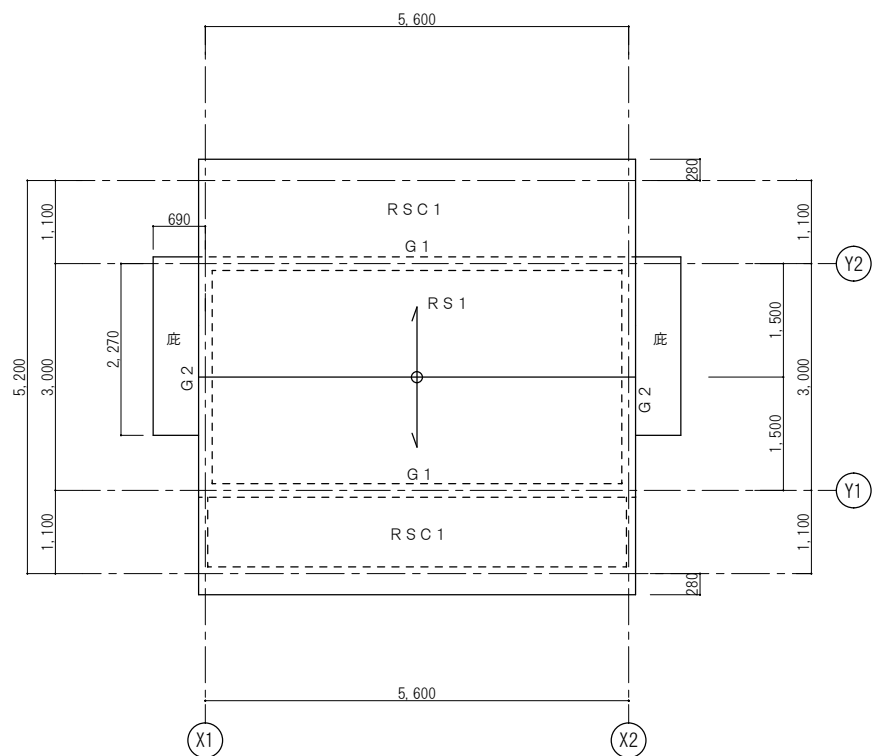
北ヤS-03
No.



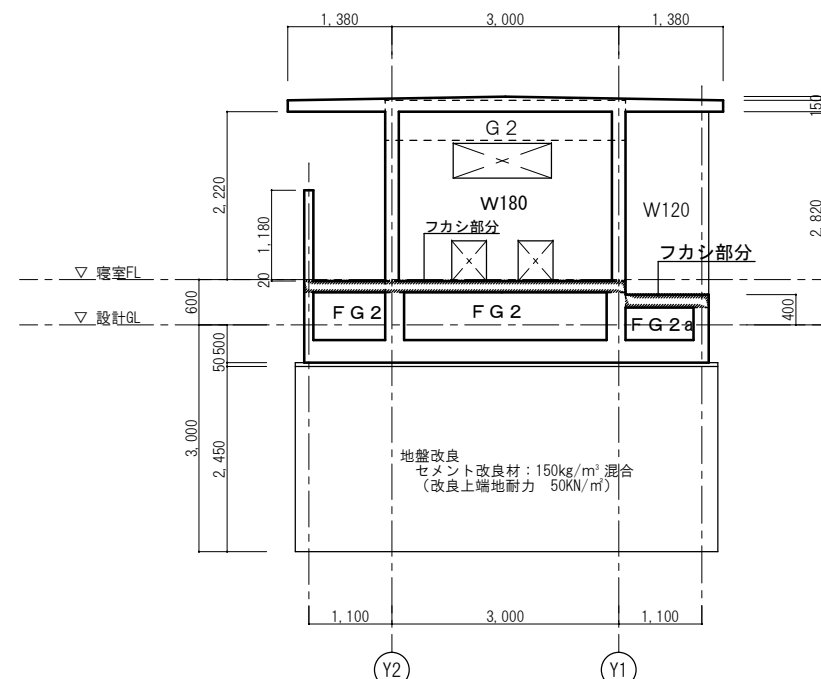
基礎伏図 S=1/50



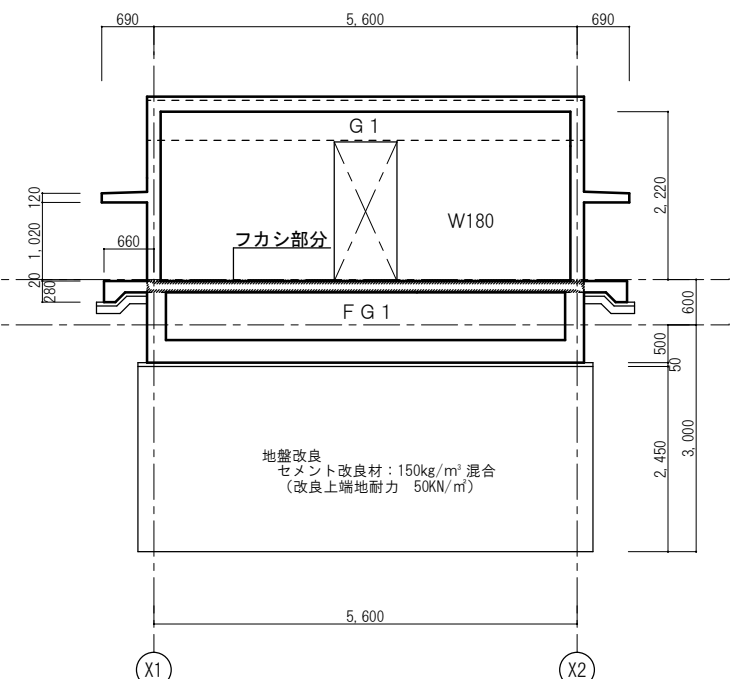
1階床伏図 S=1/50



R階梁伏図 S=1/50



X 2 軸組図 S=1/50



Y 1 軸組図 S=1/50

特記事項



山梨建築設計監理事業協同組合

承認 代表設計者 設計担当者 縮尺
A1→1/30 A3→1/60
設計年月日
一級建築士 第145710号 佐野 正秀
一級建築士 第202153号 初鹿 和久

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(北ヤマアラシ舎)
図面名称 伏図・軸組図

北ヤS-04
No.

梁リスト						壁リスト												庇															
S=1/20						S=1/20												S=1/20															
符 号		F G 1、2 (F62a)				G 1、2				符 号		W120				W180				開口補強要領													
位 置		全断面				全断面				断 面																							
断 面										縦 筋		D10 @200				D10 @200 ダブル																	
										横 筋		D10 @200				D10 @200 ダブル																	
										開口補強		縦補強筋		1-D13				2-D13															
												横補強筋		1-D13				2-D13															
上 端 筋		2-D19				2-D16				斜補強筋		1-D13				2-D13																	
下 端 筋		2-D19				2-D16				端部補強金		1-D13				2-D13																	
スターラップ		D10 @200				D10 @200																											
腹 筋		4-D10				4-D10																											
床版リスト																																	
階		記号		版厚				短辺方向		長辺方向		階		記号		版厚						短辺方向		長辺方向									
基礎		F S 1		300		上筋		D16 #150		D16 #200		1 階		S 1		150				上筋		D13 #150		D13 #200									
						下筋		D16 #150		D16 #200										下筋		D13 #150		D13 #200									
		F S C 1		300		上筋		D16 #150		D16 #200				S C 1 (犬走り共)		150				上筋		D13 #150		D13 #200									
						下筋		D16 #150		D16 #200								下筋		D13 #150		D13 #200											
放飼場断面リスト																																	
S=1/20																																	
A-A断面 (階段部分)																				階段												プール	
特 記																								承認		代表設計者	設計担当者	縮 尺		工事名称		北ヤS-05	
事 項														一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第202153号 初鹿 和久	A1→1/20 A3→1/40 設計年月日								図面名称									
																		遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北-ヤマアライグマ舎)															
																		構造部材・断面リスト															